

高嶺小学校

令和元年度高嶺小学校・海洋教育年間計画表

学年・取組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
リーフトレイル 2年 全13時間程度	学年計画 日付						
	授業内容(時数)					・9月11日を希望(2週目、3週目がよい、できれば午前中) ・リーフトレイルのオリエンテーション(1時間) ・スタッフとの離合わせ(1時間)	
	連携団体				・9月のオリエンテーションに向けて、事前打ち合わせは可能なのか? ・沖縄水産高校	・海での安全指導など依頼	
	日付						
魚さばき(食育) 4年 全14時間程度	授業内容(時数)						
	連携団体						
	日付						
	授業内容(時数)					・サバニの歴史や漁人の生活について講話及び調べ学習(3時間)	
サバニ体験 6年 全14時間程度	連携団体					・糸満市サバニ委員会 ・サバニの歴史などについて講話依頼	
	日付						
	授業内容(時数)						
	連携団体						
備考							
学年・取組	学年計画	10月	11月	12月	1月	2月	
	日付	・10月上旬希望 ・できれば午前中がよい					・2月1日(土)OISTでの発表会
	授業内容(時数)	・リーフトレイル体験(3時間程度)	・リーフトレイルでの体験をまとめたり、さらに詳しく調べる活動(4時間程度)				・学業補習(2時間) ・OISTでの発表会(2時間)
	連携団体	・沖縄水産高校 ・海の生き物についての指導依頼					
リーフトレイル 2年	日付	・希望					
	授業内容(時数)	・マグロを解体して食べよう(2時間) ・糸満のいるいるな魚を調べよう(2時間) ・おいしく食べるための方法を伝えよう(4時間)					
	連携団体	・沖縄水産高校 ・マグロの解体と食する指導を依頼					
	日付					・2月1日(土)OISTでの発表会	
魚さばき(食育) 4年	日付	・サバニ体験(4時間)					
	授業内容(時数)	・調べたことまとめる(4時間)					
	連携団体						
	日付						
サバニ体験 6年	日付						
	授業内容(時数)	・沖水・サバニ委員会・PTA ・サバニ委員の指導依頼・安全管理依頼 ・つりの補助依頼					
	連携団体						
	日付						
備考							

学年	主な取組	連携団体
6 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ サバニの歴史についての講話 ・ サバニ体験 ・ ウニの放流体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糸満帆掛サバニ振興会 ・ 沖縄水産高等学校海洋技術科 ・ 美々びー子糸満
5 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウニの人工授精体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄水産高等学校海洋技術科
4 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ かまぼこ作り体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄水産高等学校食品科学科
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糸満海人工房資料館見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糸満海人工房ハマースーキ
2 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーフトレイル体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄水産高等学校海洋生物科

リーフトレイルのしおり ＜海辺の生き物を見つけよう＞

1. ねらい

潮の引いた時間帯に出現するサンゴ礁を安全に歩き、そこに住む生きものを観察することで、海とそこに住む生きものに親しむ楽しさを実感しながら、海への関心を高める。

2. 日時 令和元年10月10日(木) 午前9時～午後12時30分

- 午前8時30分 テント張り 大度海岸 2年保護者
午前9時 高嶺小学校出発 (貸し切りバス)
午前9時30分 大度海岸到着
開会式 (司会:)
① 沖縄水産高校職員、生徒の紹介 (各自)
② 教頭あいさつ
③ 注意事項、健康チェック (担任)
体験準備
午前10時 リーフトレイル開始 (実施方法を確認、班分けなど)
午前10時50分 リーフトレイル終了
閉会式 (司会:)
① 感想やお礼のことば (児童代表)
② 沖水の先生のあいさつ
③ 教頭あいさつ
午前11時20分 大度海岸出発
午後11時50分 学校到着

10/10 (木)
干潮 10:59
満潮 17:20

3. 場所 糸満市大度海岸

4. 参加者 高嶺小学校 2年生 55名 (2クラス)

5. 引率 教頭、教務、2年担任、特別支援担任、2年保護者: (9名) 上原由美・上原和丈・神谷愛子 惣慶丞武・濱野和美・玉城薫・玉城孝之・玉城直子・仲宗根沙耶香 (金城徹男・平田しのぶ)

6. 講師 沖縄水産高等学校 (教諭5名、生徒18名)

7. 服装 長袖Tシャツ (薄手がよい、暑くなければラッシュガード可)、体育ズボン (日焼けが気になる場合は、トレパンの長ズボンやラッシュガードも可)、赤白帽 (ガムテープで名前を貼る)、軍手 (学校で用意)、学校の上履きやマリンシューズ

8. 持ち物 水筒、着替え (Tシャツ、ズボン、靴下)、タオル、ビニール

9. 安全対策 ・全員ライフジャケット、軍手を着用 ・看護師を同伴する：2名
 ・班ごとに高校生スタッフをつける ・出発前に児童の水とうに水を補給する

10. 移動手段：大型バス（1台）、学校車（1台）

11. 留意点

- ・暑さ対策、熱中症対策を十分に行う
- ・捕った生きものは観察後逃がす
- ・むやみに生物に触らない
- ・トイレの確保

12. 事前指導

- (1) 生活科の時間・・・海の生き物について（講話などが可能か？）
- (2) 沖縄水産高校生と児童の顔合わせ（必要があれば）
- (3) 海での安全指導

13. 事後指導

- (1) お礼の手紙、感想（後で発表会を実施する予定）

14. 役割分担

役割	担当者	備考
1. 予算の執行・管理	校長・教頭	
2. バスの予約	教頭	
3. 連携団体との日程調整 ① 沖縄水産高校	教務	
4. 実施要項案の作成	教務	
5. プログラム実施に向けての 児童への指導	2年担任	
6. 当日の児童管理	2年担任	
7. 学校車	教務・教頭	・当日の駐車場やバスが乗り入れられるかを確認。
8. 写真係	各自	
9. テント（タープ）張り	教務・教頭	・2年保護者にも協力を依頼
10. 用具 ①救急箱 ②トイレトペーパー ③ゴミ袋 ④軍手 ⑤拡声器 ⑥キーパー、クーラーボックス ⑦水	①養護教諭 ②養護教諭 ③養護教諭 ④担任 ⑤担任 ⑥用務、教務 ⑦教務	④軍手は、学校で購入する。

⑧ライフジャケット (58 着) ⑨カメラ ⑩テント (タープ) ⑪ブルーシート	⑧教務 ⑨各自 ⑩教務・教頭 ⑪教務・教頭	
---	--------------------------------	--

15. 安全管理について

- (1) 実施前には事前調査(下見)を実施する
- (2) 体験中はライフジャケットを常時正しく着用する
- (3) 講師方から基礎知識を得てから実習を開始する
- (4) 一人では行動しないようにする
- (5) 海上では天候に細心の注意を払う
- (6) 安全に関する注意事項を開会式の中でも行う
- (7) 引率職員は、活動中に体調不良の児童が出た場合、速やかに学校に連絡する。その後、待機職員（校長、養護教諭）が学校まで連れてくるか、場合によっては保護者に連絡し引き取ってもらう。
- (8) 引率職員は、校外学習当日は暑さによる熱中症が予想されるため、児童にはあらかじめ決めておいた場所で休憩や水分補給を行わせ、体調面に十分配慮する。
- (9) 職員は、事故が発生した場合は児童の生命・安全を最優先し、管理職、学年主任への報告を行う。場合によっては、救急車の要請をその場で行うことも想定しておく。



揚げかまぼこ作りのしおり <4年>

1 ねらい

昔から漁業が盛んであった糸満市の海の恵について知る。また、魚を生活に利用するための知恵（保存法）について知り、海の大切さを実感しながら海洋に対する関心を高める。

- 2 日時 令和2年 1月15日（水） 11:05～15:35
- 3 場所 沖縄水産高等学校（視聴覚室、食品製造総合実習室、食品分析実験室）
- 4 参加者 高嶺小学校 4年生 1組（26名）、2組（27名）、計53名
- 5 引率 室根広菜（1組担任）、宮城優紀（2組担任）、校長、教務
- 6 講師 沖縄水産高校 和泉好彦先生、沖水高校生（26名）
- 7 日程

【4校時に給食をとる】

- 12:20～12:50 バスで沖縄水産高校へ移動。
- 12:50～13:30 開講式、製造過程説明（視聴覚室）
- 13:45～15:25 1組・・・かまぼこ作りについての説明及び実験（食品分析実験室）
2組・・・揚げかまぼこ作り体験（食品製造総合実習室）
※ 各クラス40分程度体験後、14:30頃入れ替えをする。
- 15:30～15:35 閉講式（中庭） ※児童代表・・・お礼のことば（ ）

8 持ち物

- ① 上ばき ②エプロン ③三角きん ④水とう ⑤筆記用具 ⑥探検バック ⑦ハンカチ

9 発表会を持とう

- ①OISTでの発表会 2月 1日 ポスターセッション
- ②3年生への発表会 2月27日 体験を生かしたかまぼこ作り→その後3年生への発表会



6 年 「サバニ体験」のしおり

1. ねらい

- (1) 糸満市の優れたサバニの歴史や文化を学ぶと共に、サバニを漕ぐ体験を通して、糸満市の伝統文化への興味関心を育てる。
- (2) ビーチクリーンを通して、海の豊かさを知り、持続可能な社会を考える機会とする。
- (3) 海に関わる職業に触れ、自己の生き方や職業観の育成につなげる。

2. 日 時: 令和元年 9 月 12 日 (木) 8:15~15:30 (天候判断は前日判断)

3. 講 師 : 糸満市帆掛サバニ振興会 (5 名)

連 携 : 沖縄県立沖縄水産高等学校 海洋技術科(教諭 5 人 生徒 10 人)

4. 体験場所: 美々ビーチいとまん 〒901-0306 糸満市西崎町 1 丁目 6 番 15 TEL:098-840-3451

5. 実施内容:

- (1) ビーチクリーン (全員)
- (2) 3つの活動をローテーションで実施
 - ① 帆掛けサバニ漕ぎ体験(20人)、単船・組船
 - ② ロープワーク(20人)
 - ③ 手旗信号(20人)
- (3) 新糸満造船所見学(全員)

6. 対象学年: 6 学年(61 名)

7. 引 率 者: 仲村佐代子(1 組担任)、野原友和(2 組担任)、教頭、教務、特別支援、PTA(4 名)

8. 持 ち 物: 水筒、弁当、上履き(または濡れてもよい靴)、着替え、タオル、ビニール袋(着替え用)、酔い止めの薬、日焼け止め、手袋

※ 体験中はできるだけ直射日光を防ぐため、ラッシュガード(薄手の長袖でも可)、長ズボン、赤白帽(ゴム付き)を着用。

9. スケジュール(当日の流れ)

- (1) 8:15~ 8:30 (15) 出席確認 (集合)
- (2) 8:30~ 9:00 (30) 貸し切りバスで移動 (学校→美々ビーチ)
- (3) 9:00~ 9:15 (10) 開会式(司会児童:)
 - ① 糸満サバニ振興会、沖縄水産高校職員・生徒の紹介(各自)
 - ② 教頭あいさつ
 - ③ 日程の確認、注意事項、健康観察(担任)
- (4) 9:10~ 9:20 (10) 休憩(水分補給)
- (5) 9:20~ 9:50 (30) ビーチクリーン(清掃範囲の確認、ゴミの分別について確認)
- (6) 9:50~10:00 (10) 休憩(水分補給、健康観察)
- (7) 10:00~12:00 (120) 体験活動ローテーション(①サバニ②ロープワーク③手旗信号)
- (8) 12:00~12:30 (30) 昼食
- (9) 12:30~12:45 (15) 閉会式(司会児童:)
 - ① 感想やお礼のことば(児童代表)
 - ② 振興会の方、沖水の先生のことば
 - ③ 教頭あいさつ
- (10) 12:45~13:00(15) 新糸満造船所に徒歩で移動
- (11) 13:00~13:45(45) 新糸満造船所見学
- (12) 13:45~14:15(30) バスで移動(美々ビーチ→学校)

12 日 (木)
干潮 12:02
満潮 5:23、18:23

10. 事前指導

- (1) 総合的な学習の時間……サバニの歴史や構造の特徴等（サバニ振興会の講話）
- (2) 新・糸満造船所についてDVD視聴……うちなー企業調査隊（琉球放送）
- (3) 事前アンケートの実施

11. 事後指導

- (1) お礼状、感想（後で発表会を実施する予定）、事後アンケート

12. 役割分担

役割	担当者	備考
1. 予算の執行・管理	校長・教頭	
2. バスの予約	教頭	
3. 連携団体との日程調整 ① 沖縄水産高校 ② サバニ振興会 ③ 美々ビーチ ④ 新糸満造船所	教務	
4. 実施要項案の作成 事前事後アンケート用紙	教務	
5. プログラム実施に向けての 児童への指導	6年担任	
6. 当日の児童管理	6年担任	
7. 学校車	教務・教頭	・当日の駐車場代について美々 ビーチと確認。
8. 写真係	特支担任	
9. 職員弁当手配	特支担任	
10. ウェークの借用 (必要数 25 本)	教務	・糸満環境協会から (25) 本
11. テント (タープ) 張り	教務・教頭	
12. 用具 ① 救急箱 ② トイレットペーパー ③ ゴミ袋 ④ 軍手 ⑤ 拡声器 ⑥ キーパー、クーラーボックス ⑦ 氷 ⑧ ライフジャケット (28 着) ⑨ カメラ ⑩ テント (タープ) ⑪ ブルーシート	① 養護教諭 ② 養護教諭 ③ 養護教諭 ④ 担任 ⑤ 担任 ⑥ 担任 ⑦ 教務 ⑧ 教務 ⑨ 特支担任 ⑩ 教務・教頭 ⑪ 教務・教頭	③ ビーチクリーン用のゴミ袋は、 美々ビーチからの提供あり。事前 に連絡し管理事務所から受け取 る。

※ 美々ビーチ、及び新糸満造船所の下見が必要。

振興会側

- (1) サバニ (3 艇)
- (2) 救助艇 (1 艇)

沖縄水産高校側

- (1) 救助ボート 1 艇
- (2) 手旗信号用旗
- (3) ロープ

糸満観光協会

- (1) ウェーク (25 本)

13. 安全管理について

- (1) 実施前には事前調査(下見)を実施する
- (2) 実習中はライフジャケットを常時正しく着用する
- (3) 講師方から基礎知識を得てから実習を開始する
- (4) 一人では行動しないようにする
- (5) 海上では天候に細心の注意を払う
- (6) 安全に関する注意事項を開会式の中でも行う
- (7) 引率職員は、活動中に体調不良の児童が出た場合、速やかに学校に連絡する。その後、待機職員(校長、養護教諭)が学校まで連れてくるか、場合によっては保護者に連絡し引き取ってもらう。
- (8) 引率職員は、校外学習当日は暑さによる熱中症が予想されるため、児童にはあらかじめ決めておいた場所で休憩や水分補給を行わせ、体調面に十分配慮する。
- (9) 児童のお弁当については、暑さで食中毒の可能性があるので、クーラーボックスで冷やし、管理室等で保管してもらう。
- (10) 職員は、事故が発生した場合は児童の生命・安全を最優先し、管理職、学年主任への報告を行う。場合によっては、救急車の要請をその場で行うことも想定しておく。



14. 活動名&連携機関

活動名	連携機関
(1) サバニ潜ぎ体験	糸満サバニ振興会 (098-995-1192) 事務局長：玉城 樹 (070-5813-3322)
(2) ビーチクリーン	美々ビーチいとまん (098-840-3451)
(3) ロープワーク講習 手旗信号講習	沖縄水産高等学校 (098-994-3483) 海洋技術科 教諭 浦添正太 (090-7387-2920) 教諭 四方俊晴 (090-3795-9111)
(4) 造船所見学	新糸満造船所 (098-994-5111)

「サバニ体験活動」タイムスケジュール

タイムスケジュール

クラス 時間	Aグループ(20人)	Bグループ(20人)	Cグループ(21人)
10:00 ～ 10:30 (30)	サバニ漕ぎ体験	ロープワーク	手旗信号
10:30 ～ 10:40 (10)	片付け・休憩		
10:40 ～ 11:10 (30)	手旗信号	サバニ漕ぎ体験	ロープワーク
11:10 ～ 11:20 (10)	片付け・休憩		
11:20 ～ 11:50 (30)	ロープワーク	手旗信号	サバニ漕ぎ体験
11:50 ～ 12:00 (10)	片付け・休憩		



高嶺中學校

1 学年 南山の歴史を学ぶフィールドワーク

担当：1 学年主任 上江洲

- 1 ねらい (1) 自らの足で地域の誇り高い歴史や文化を学び、地域に愛着と誇りを育む。
(2) 地域の歴史を正しく理解することにより、地域との連帯感と所属感を培う。
(3) 時代背景を理解し、特に、海を活用して発展してきた視点を得る機会とする
- 2 講師 糸満市教育委員会 生涯学習課 主事 湖城 清 氏
- 3 日時 令和元年6月27日(木) 5・6校時(13時50分～15時40分)
※ 総合的な学習の時間カウント
- 4 場所 高嶺小学校後ろから南山神社まで(5校時)
本校視聴覚教室(6校時)
※ 雨天の場合は、5・6校時共に視聴覚教室にて講話
- 5 内容 (1) 野外では、南山時代の石垣(野面積石垣と切石積石垣)を見学後、
南山周辺のグスク(国吉グスク、真栄里グスク、大城森グスク、照屋グスク、与座グスク、
嘉手志ガー(カデシガー)、和解名森(ワダキナー)を見学予定。
(2) 視聴覚教室では南山の遺物から見た時代背景として(青磁、白磁、染付、天目茶碗、鉄鏝、
かんざし、円形、おはじき)などの遺物に実際に触れた後、周辺グスクと南山、グスク時
代から糸満市に至るまでの講話を聴く。
- 6 日程 13:30 講師来校(校長室にて休憩及び打ち合わせ)
13:40 清掃終了後、中庭に集合完了(トイレ・歯磨きを済ませておく)
13:50 出発式
出席点呼
講師紹介(亜里沙)
講師のあいさつ
諸注意(亜里沙)
14:00 フィールドワーク
14:40 帰校・休憩
14:50 視聴覚教室にて講話
15:30 お礼のことば(生徒：玉城心路)
15:40 終了
15:50 校長室にて講師接待
- 7 担当 ワークシート準備(亜里沙) カメラ(悟) キーパー(充) 救急箱(亜里沙)

確認事項 当日は1年生のみジャージ登校になります。

高嶺中学校 糸満の海の歴史と文化学習会 実施要項

- 1 ねらい (1) 高嶺中学校海洋教育プログラムの一環として、糸満の海の歴史や文化について学び、海に関する歴史や文化について理解を深めさせる。
(2) 南山城跡フィールドワークとあわせて、高嶺校区の歴史と海に関連に興味を持たせる。
(3) 歴史を学び、今後の糸満について考えていくきっかけとする。
- 2 日時 令和元年11月6日(水) 6校時 14時50分～15時40分
- 3 場所 高嶺中学校視聴覚教室
- 4 連携 糸満市教育委員会
講師：糸満市帆掛けサバニ振興会 金城善(まさる)氏 玉城樹(いつき)氏
- 5 対象 高嶺中学校1学年 男子(25名) 女子(19名) 計(44名)
- 6 内容 (1) 糸満の帆掛けサバニについて (2) ミーカガンについて
(3) 糸満の海の歴史について (4) その他
- 7 指導 (1) 事前指導
① 糸満の海に関することについて、質問などを考えさせておく
② 帆掛けサバニ体験実施(11月8日:金)に向けて、しおりで読み合わせをしておく
(2) 事後指導
① 11月11日(月)・・・帆掛けサバニ体験実施後とまとめて、道徳の時間で、お礼状作成ワークシートのまとめを行い、今後の海洋教育の取組みに活かす。
- 8 準備 (1) 計画、立案、事前調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・仲間
(2) 帆掛けサバニ振興会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・仲間
(3) 冊子準備、ワークシート作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・仲間
(4) お茶、茶菓子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・学年
- 11 当日 (1) 5校時終了後、視聴覚教室に移動させる
(2) 集合整列(充)
(3) カメラ (悟)
- 12 その他

1 本時のねらい

(身に付けさせたい力) 海洋教育プログラムの一環として、糸満の海の歴史や文化について理解を深めさせ、高嶺校区内の歴史と海について興味を持つ	(評価場面・方法) 既習事項をもとに、海洋と南山の発展を関連付けて考えているか
--	--

まとめ、振り返り (答え、ゴール)

(まとめ) サバニの歴史・糸満の海の歴史について理解し、身近な地域の発展に海洋が大きく関わっていた。	(振り返り) 南山の発展と海洋教育の
---	-----------------------

めあて (問い、ゴールまでの道筋)

「糸満のこれまでの発展」と「海洋」の関連を探ろう

★ 本時の展開

<p>導入 (10分)</p> 本時の授業の流れを確認する ○これまでの高嶺の歴史「南山城跡フィールドワーク」を振り返る ・南山城には一帯を支配した王がいたこと。 ・南山が発展した理由は何だろう ○糸満の歴史について学ぼう 講師の紹介 糸満市帆掛けサバニ振興会 (金城善・玉城樹)	* 6月27日実施の「南山城跡フィールドワーク」について復習する。 * 「南山」と「海洋」について関連を意識
<p>展開 (30分)</p> ○サバニの歴史について ・サバ(サメ)を取る舟(シニ)がサバニの原型 ○なぜ「サメ」を捕っていたのだろうか・・・ ・明国(中国)への朝貢のため (フカヒレ) ○サバニをつくる材料はどうしていたのだろうか ○サバニの大型化・機械化について ○帆掛けサバニについて	* 映像資料準備 * 中国との関係・三山時代の既習事項 「朝貢」という言葉の理解 ・歴史分野の既習事項 * 帆掛けサバニ体験について興味関心を持たせる。
<p>終末 (10分)</p> ○質疑応答の時間をとる ○ワークシートのまとめをする	

★ 板書計画

(Blank space for board writing plan)

高嶺中学校 授業プランシート (技術)

単元名 舟をつくろう (8時間程度)

1 本時のねらい

<p>(身に付けさせたい力) 帆掛けサバニの体験学習とサバニ学習の知識をもとに、舟をデザインし作成することを通して深い学びにつなげる</p>	<p>(評価場面・方法) グループで協力し、浮力を考慮した舟をデザインし、作成することが出来る。</p>
--	--



まとめ、振り返り (答え、ゴール)

<p>(まとめ) よりよい舟を追及し、浮力や安定性を考慮したデザインにするにはどのような工夫が必要かを考える</p>	<p>(振り返り) 浮力とデザインの関係と、舟で海を渡った先人の知恵を体感することが出来た</p>
--	---

めあて (問い、ゴールまでの道筋)

「浮力」があり、安定性のある舟を製作しよう

★ 展開

<p>1 週目・・・○舟のデザインを考えよう ・浮力はどうか・人が乗っても転覆しない工夫 ・大きさ ・形にこだわる</p> <p>○厚紙に設計し、切り取って模型を作る。実際に浮かべる</p>	<p>*これまで見てきた「サバニ」・造船所の舟の形などを参考に、オリジナルの設計に取り組む</p> <p>*個人の設計を出し合い、グループでさらに練り直す。</p>
<p>2 週目・・・○プラスチック段ボールを活用して模型通りに作成する グルースティックのりで接合すること 折り曲げて強度を保つなどの工夫</p>	<p>*補強・修正を繰り返しながら、作成する。浮力を考える</p>
<p>3 週目・・・○ //</p>	<p>*人が乗っても安定しているかどうか</p>
<p>4 週目・・・○実際に乗ってみよう</p> <p>学校近くの川に浮かべて、どのグループが一番安定していたかについて競う</p>	<p>*修正を繰り返して完成に近づける</p>
<p>○ワークシートのまとめをする</p>	

★ 板書計画

第4回沖縄県海洋教育・キャリア教育シンポジウム参加計画

【沖縄県海洋教育・キャリア教育シンポジウム趣旨】

本シンポジウムにおいては、キャリア教育を積極的に行っている小学生・中学生によるポスターセッション、実践報告を行い、これからの産業人材の育成法を考える契機とします。

また、県内外の先進的な取り組みの高校生・大学生による実践発表、専門高校と積極的に連携している企業からの実践発表を行い、キャリア教育への理解・関心を高め、産業教育の活性化、振興に資することを目的とします。(一部抜粋しています)

1	主 催	沖縄県教育委員会		
	共 催	沖縄県糸満青少年の家	糸満市教育委員会	
		NPO 法人ティーチャーズ・カンパニー	かくれ脱水委員会	
	後 援	島尻地区教育委員会	西原町	
2	日 時	令和2年2月1日(土)	9時~16時20分	
3	場 所	沖縄科学技術大学院大学(OIST)	恩納村字谷茶1919-1	
4	発 表 校	糸満市立光洋小学校	恩納村立喜瀬武原小学校	糸満市立高嶺小学校
		糸満市立糸満中学校	糸満市立高嶺中学校	
		県立沖縄水産高等学校	県立真和志高等学校	徳島県立徳島商業高等学校
		沖縄キリスト教学院大学		

- 参加のねらい
(1) 沖縄科学技術大学院大学(OIST)を見学し、進路選択の一助とする
(2) 今年度の実践発表を通して、取り組みの実践を振り返り、発表力を高める
(3) 県内外の実践を、今後の研究活動の参考にする
- 参加者
【実践発表】 德里智直 玉那覇盛音 池村俐音 玉那覇盛錬
 國吉海里 玉城悠人 南崎稜侃 金城海玖 上江洲斗菜 9名
【生徒会】 金城和磨 上原幸夏 石川万智 金城沙里奈 喜屋武美羽
 上原梨亜 玉城沙和 新垣あいら 高江洲李花
 金城るい 仲間麻莉乃 伊波真之介 上原琉之介 モーク聖亜 14名
- 引 率 長田宗彦校長 仲間敦 狩俣葉月 新垣光史指導主事
- 移 動 美ら島観光バス 糸満市北波平240-1 TEL 098-840-3909
- 行 程
7:20 学校集合(健康観察・諸確認)
7:30 学校出発
8:30 沖縄科学技術大学院大学 OIST 着
9:00 施設見学
10:00 開 会 【別紙】
16:20 閉 会
16:40 沖縄科学技術大学院大学 OIST 出発
17:40 学校着・解散
- 諸確認
(1) 制服(冬服)で参加する
(2) 水筒・筆記用具を持参する。その他必要なものがあれば、引率教諭と確認する
(3) 当日のバス代・弁当代は海洋教育事業の予算で賄う
(4) インフルエンザなどの感染症予防のためマスクを着用する

糸満中学校

7月2日(火) 5・6校時

「校外学習に向けた質問事項を考える」

	学習内容	留意点等
導入	<p>○前回までの授業の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・それぞれの班に、どのようなことを調べ学習でまとめたか聞く。 <p>○校外学習に向けての質問事項を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none">・7月9日(火)に各事業所や団体を訪問し、実際に活動している地域の方々から話を聞いたり、自分たちのアイデアを聞いてもったりしながら話を深めていく。	<p>*生徒が課題意識を持って質問事項を考えたり、インタビューしたりしてほしいことを伝える。</p>
展開	<p>○校外学習で訪問する団体、企業について紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none">・担当者、事業内容、場所 <p>○選択したテーマのもと、自分たちは将来の糸満のためにどのようなことができるかをしぼっていく。</p> <p>○疑問に思っていることや、自分たちのアイデアを質問事項として考えワークシートに記入する。</p> <p>○訪問した際に、はじめとおわりのあいさつをする生徒と内容を確認する。</p>	<p>*教師が机間巡視をしながら、どのような質問事項を考えているのか把握し、内容を工夫させる。</p>
まとめ	<p>○校外学習当日の動きや注意事項について説明する。</p>	

校外学習に向けての質問事項を考えよう

1年 組 番 氏名： _____

テーマ： _____

質問 1

回答

質問 2

回答

海洋教育

糸満の海について考える

ビーチクリーン(美々ビーチいとまん)
4月22日(月)



ビーチクリーン(美々ビーチいとまん)
4月22日(月)



ビーチクリーン(美々ビーチいとまん)
4月22日(月)



ビーチクリーン(美々ビーチいとまん)
4月22日(月)



ビーチクリーン(美々ビーチいとまん)
4月22日(月)





みなさんは、糸満市と海の関わりについてどのくらい知っていますか？



糸満と海の関わり

- うみんちゆの町として歴史のある糸満市



糸満と海の関わり

- 糸満ハーレーや糸満大綱引きなど、海や自然と関わる歴史のある行事

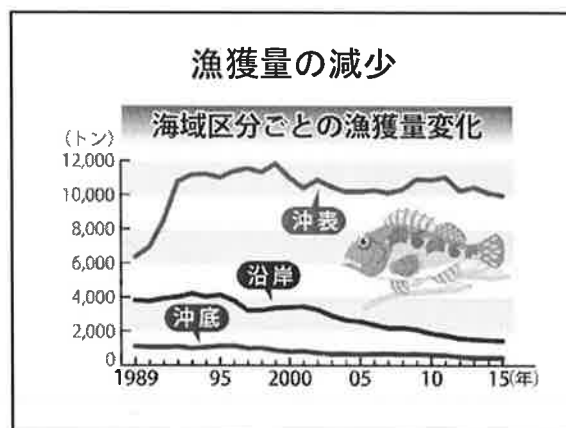


糸満と海の関わり

- 海が糸満の人々の生活に深く関わっている



海と深く関わってきた糸満ですが、ちょっと考えてみてください。



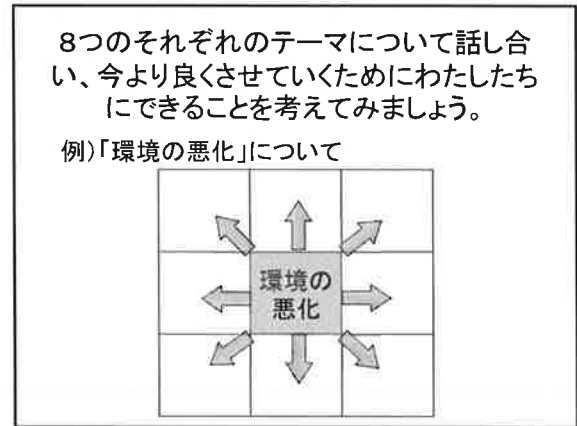
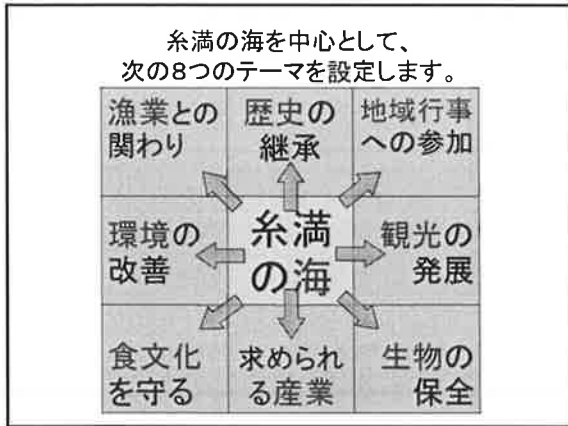
現在、糸満や沖縄の海を取り巻くたくさんの課題があることを知っていますか？

この課題に対して、わたしたちに何かできることはありませんか？

課題

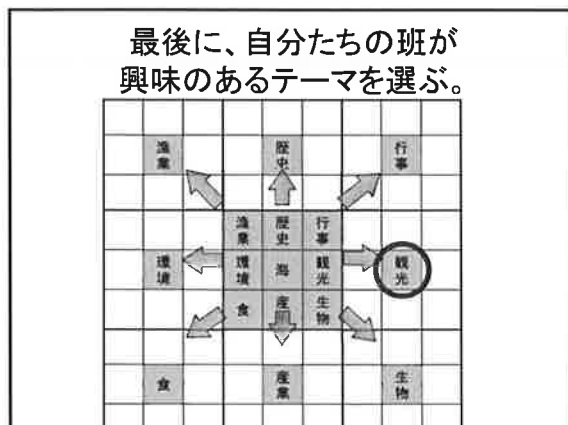
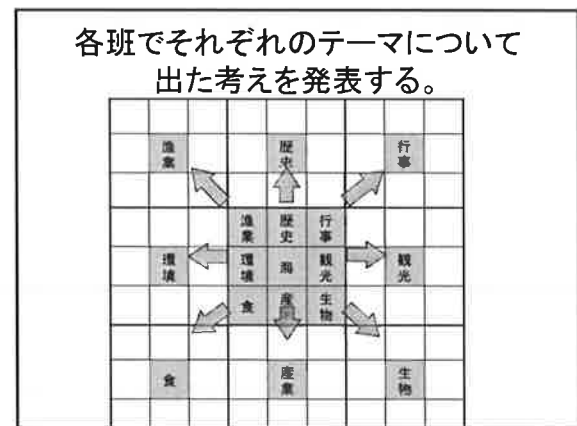
糸満の海を取り巻く様々な課題をテーマに、わたしたちにできることを考えましょう。

糸満の海



ポイントは

ふるさと100
年計画
子や孫の代
まで残そう！



話し合いスタート！
(15分)

5月14日(火)6校時

「糸満の海について考える(課題設定)」

	学習内容	留意点等
導入	<ul style="list-style-type: none">○ビーチクリーンについて振り返る(スライドショーを流す)○パワーポイントで糸満市や沖縄県の海の現状を聴く。<ul style="list-style-type: none">・漂着ごみ、糸満の海の歴史、	
展開	<ul style="list-style-type: none">○自分たちが考える糸満市の海を取り巻く課題と改善策について、マンドラート法を用いて班で話し合い活動を行う。(ワークシート配布) ○各班で出した意見を発表する。 発表 → 質疑応答 ○興味のあるテーマをしぼり、担任に報告する。	検討 ・KJ法 ・ウェビングなど
まとめ	<ul style="list-style-type: none">○次回の活動について話をきく。<ul style="list-style-type: none">・次回からは、今日決めたテーマをもとに、課題改善に向けてどのようなことを調べればよいかという見通しを立てる。	

1年 組 班

月 日 ()

班員氏名： _____

課題「糸満の海を取り巻く、課題と改善策を考える」

	漁業との 関わり			歴史の 継承			地域行事 への参加	
			漁業との 関わり	歴史の 継承	地域行事 への参加			
	環境の 改善		環境の 改善	糸満 の海	観光の 発展		観光の 発展	
			食文化 を守る	求められ る産業	生物の 保全			
	食文化 を守る			求められ る産業			生物の 保全	

希望するテーマ

第1希望： _____

第2希望： _____

第3希望： _____

決定したテーマ

令和元年度 1 学年総合的な学習の時間～校外学習～(案)

- 1 ね ら い: (1) 生徒自らで選択した糸満の海に関連するテーマのもと、海に対する関心を高める。
(2) 地域の団体、個人または企業から話を聞き、将来の糸満市を担う生徒自身の視野を広げ、様々な可能性を考える機会とする。
(3) 生徒自身が様々なアイデアを出しあいながら地域の人材と交流をもつことで、海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し(ESD)、利用することを考える機会とする。
- 2 日 時: 令和元年7月9日(火) 午前9時00分～午前11時00分
※悪天候が予想される場合は前日に態度決定
※荒天時、講師については事前に学校に来校することが可能か確認をし、できない場合にはグループをまとめて対応する。
- 3 場 所: 8つの団体、個人、企業の活動現場(12 校外学習活動場所一覧を参照)
- 4 実施内容: (1)講話を行う団体、個人、企業の活動内容の紹介(見学、体験を含む)
(2)生徒からの質疑と応答
- 5 対象学年: 1 学年(170 名)
- 6 職 員: (1) 校外引率:立誠、貴恵、興一朗、優、朋代、三浦、孝子、祐里乃 (8 人)+伊敷(ヘルパー)
(2) 校内待機:秋太
(3) 学校車での巡回:允沖
- 7 持 ち 物: 総合ファイル、ワークシート、筆記用具、水筒、帽子、タオル
※雨天時には雨具(カッパが適当)
- 8 対 応: (1) 校外での活動(生徒の移動)
① 行 き:糸満中学校登校→出席確認・諸注意→職員引率のもと学校を出発し徒歩またはマイクロバスで移動→各活動場所
※マイクロバスは、イトサン(株)で活動する生徒23名+職員1名が北名城の漁場へ行く際、また、イトサン(株)の加工場へ移動する際に使用する。
② 帰 り:各活動場所から職員引率のもと糸満中学校まで徒歩で移動
(2) 雨天時の校内での活動(講師の対応と生徒管理)
① 講 師:校内での講話を行う講師については、9時10分頃に来校して頂く。
※スクールゾーンの取締時間について講師への周知を徹底する。
講師が来校したら校長室へ案内し、その後三浦が活動する教室まで案内を行う。
9時30分頃に講話を開始する。
② 生 徒:各教室へ講師が到着するまでは、担当職員が生徒を管理する。
(3) 全員体育着登校(必要に応じてジャージ上下持参)とする。着帽(熱中症予防)。
(4) 当日は公道を徒歩で移動するため、事前、当日の安全面の注意を徹底する。
※移動ルートについては13 移動ルート案を参照
- 9 役割分担:(1) 集合整列.....(三浦)
(2) 校外学習についての説明及び諸注意.....(立誠)
① 校外学習の意義について(再確認)
② 郊外での活動・移動時の安全面について
(3) カメラ.....(各担当)
(4) 校内待機・緊急時対応.....(秋太、允沖)
(5) 講師との事前調整.....(三浦、立誠)
(6) 雨天時の講師接待.....(三浦)

10 当日の流れ:

(1)	～ 8:00	登校・出席確認(各学級)
(2)	8:10～ 8:15	学年フロアでテーマごとのグループに整列し諸注意を聞く ①校外学習の意義(立誠) ②校外での活動・移動時の安全面について(三浦)
(3)	8:15～ 8:30	各グループに別れ、担当職員と確認事項と諸連絡
(4)	8:30～ 8:55	各グループで移動
(5)	9:00～11:00	各活動場所にて活動
(6)	11:00～11:30	活動終了後学校へ移動
(7)	11:30～12:25	休憩・各グループでまとめ
(8)	12:25～12:40	給食準備(各学級)
以後 早開始日課の時間で5・6時間目に各活動グループでまとめ		

11 安全管理・緊急時について

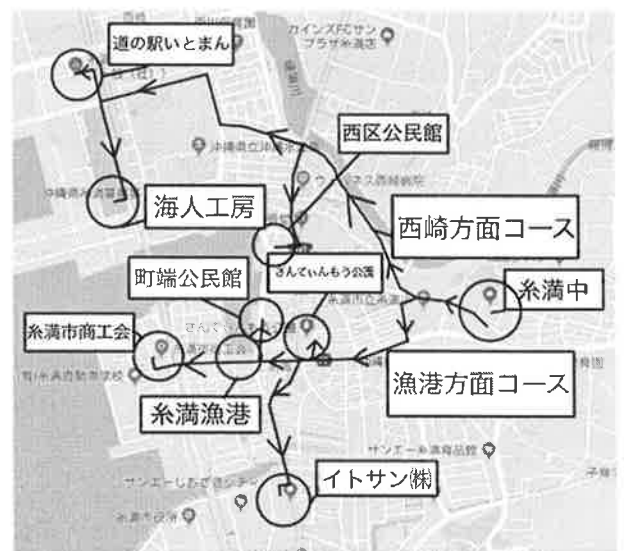
- 職員は、安全に関する注意事項を事前学習中や前日の帰りの会、当日の朝にしっかりと行い、生徒へ安全管理の意識付けをさせる。また、教師の指示に従うよう徹底させる。
- 引率職員は、活動中に体調不良の生徒が出た場合、速やかに学校へ連絡をする。その後、待機職員(允沖、秋太、公平)が学校へ連れてきて保健室にて休養させるか、場合によっては保護者へ連絡し引き取ってもらう。
- 引率職員は、校外学習当日は暑さによる熱中症が予想されるため、移動中にはあらかじめ決めておいた位置で休憩をとり、水分補給を行い、生徒の体調面に十分配慮する。
- 職員は、校内外での事故が発生した場合には、生徒の安全を最優先に行動し、管理職、学年主任への報告を徹底する。場合によっては、救急車の要請をその場で行うことも想定しておく。

12 校外学習活動場所一覧

	団体・個人・企業	活動場所	電 話	代表者	担当者	テーマ	担当職員
1	海人工房資料館・上原達彦	海人工房資料館	098-987-1550	上原 謙	上原謙・上原達彦	食文化	優
2	糸満市海人課・糸満漁協	糸満漁協	098-840-8247	金城 壮	福地貴広	漁業	立誠
3	糸満歴史文化研究会	さんていんもう公園	090-2856-1138	金城 善	金城 善	歴史	興一朗
4	イトサン(株)	イトサン漁場及び加工場	098-995-1896	大城 忠	大城 忠	環境	朋代
5	与那嶺和直さん	町端区公民館前の浜	090-2392-8629	与那嶺和直	与那嶺和直	地域行事	祐里乃
6	糸満市観光協会	道の駅いとまん 情報館	098-840-3100	玉城 幸輝	玉城	観光	貴恵
7	糸満市商工会	糸満市商工会	098-992-2816	上原 一志	金城 里美	産業	孝子
8	サバニ振興会	西区公民館	070-5813-3322	大城 清	玉城	生物	三浦

13 移動ルート(案)

※行きのルートと帰りのルートは同じ道を通り、移動する。



2 学期海洋教育について【訂正版 10/16】

ねらい

- ・海を通して生きる力を育てるため、生徒自身で考える活動を行う。
- ・課題意識を持たせ、コミュニケーション能力の向上をはかりアウトプットができる。

学習計画

学 期	月	日	時 数	累 計	活 動 内 容	進 捗
2 学 期	9	3	2	23	1 学期の振り返りと、2 学期の学習活動の説明 これまでの学習をもとに、今後の課題について話し合いを行い 発表する。	
		10	1	24	(未発表の分の課題発表) 1 学期の 8 つのテーマの中から調べ たいテーマを決め、その課題に対して具体的にどのようなこと をすれば良いのかをグループで話し合い検討する。 ◆綱作り講習会	
		13	4	28	◆糸満大綱	
		24	2	30	学級で 1 つ取り組むテーマと具体的な活動の計画	
	10	1	2	32	役割分担や計画書の作成 (案)	
		8	2	34	講師を招いての話し合い (指導や助言をもらう)	
		15	2	36	講師からの助言を参考に取り組む内容について最終確認	
	11	1	6	42	学校内外での制作活動等	
		5	2	44	発表準備①	
		12	2	46	◆合唱コンクールリハーサル(5 校時) 発表準備② (6 校時)	
		21	2	48	発表準備③	
		26	2	50	実践発表会 (学年)・海洋教育まとめ	

海洋教育

糸満の海について考える

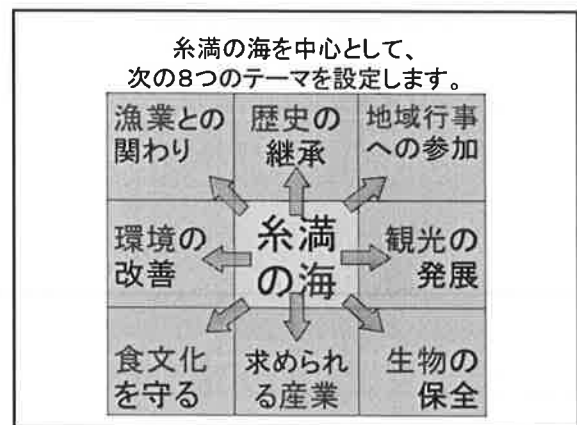


ねらい

課題

糸満の海を取り巻く様々な課題をテーマに、わたしたちにできることを考えましょう。

糸満の海



ポイントは、


**ふるさと100年計画
子や孫の代まで
残そう！**

2学期の海洋教育

ねらい①
海を通して生きる力をつけるために、身近な課題について自分自身で考え、行動できる。

1学期の学習をもとに、自分の住んでいる糸満・沖縄・日本・世界で、今のような問題が起きているのかを把握し、そのために自分自身に何ができるのかを考えて行動する。

アウトプットとは
「output」
生産品・出力という意味。
一般的には、何かを生み出すこと・発信することを言う。
知識や情報を目に言える形にするという意味でも使われる。



2学期の計画(9月)

3日・・・1学期の振り返りと2学期の学習活動の説明、各学級で今後の課題について話し合いを行う。(2時間)

10日・・・2学期に取り組みたいテーマを話し合って決める。(1時間)

24日・・・学級で1つ取り組むテーマに沿った具体的な活動の計画を立てる。(2時間)

2学期の計画(10月)

1日・・・学級の中での役割分担や計画書の作成を行う。(2時間)

8日・・・各学級で、外部からテーマや計画に合った講師を招いて、話し合いを行う。(アドバイスをもらい指導をもらう)(2時間)

15日・・・講師からの助言を参考に取り組む内容について細かく決めていく。(2時間)

31日・・・学校内外での制作活動(6時間)

2学期の計画(11月)

1日・・・発表準備①(2時間)

5日・・・発表準備②(1時間)


19日・・・取組の発表会(2時間)
各学級でお互いの取り組みの発表を行う。
地域の人を呼んで披露してもいいかも。

26日・・・まとめ(海洋教育を振り返って)(1時間)
これからの糸満のため、自分のために今回の学習がどのように活かそうか。

今日の活動(この後教室で)

各学級で今後の課題について話し合いを行う。

1学期の海洋教育のグループで、学んだテーマの課題となること、改善していかなければならないことを話し合い学級で発表する。



↓

今後の学級での活動の基盤になる!

9月24日(火) 海洋教育 (5・6校時)

1 ねらい

- ① 各学級で決定したテーマをもとに、新聞記事から「まわしよみ新聞」を作成し、発信したい具体的な問題を見つけ出す。
- ② まわしよみ新聞で見つけ出した具体的な問題について検討し、どのようにアウトプットするのかを計画する。

2 準備物

- ・新聞記事 ・はさみ ・のり ・模造紙やハترون紙 (班の枚数)
- ・マジックペン (クラスで使用できる量) 。付箋紙 (一人3枚程度) ・マグネット

3 学習内容 (2時間構成)

※事前に新聞記事と「まわしよみ新聞の作り方」を各班に配布しておく。

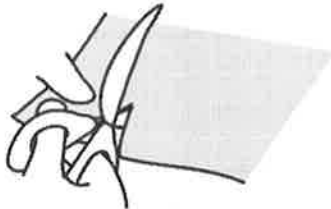
	学 習 活 動	留 意 点
導 入	<p>○決定したテーマについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まったテーマで取り上げてみたいことはあるか。 ・何を中心に発信していけば良いと思うか。 <p style="border: 2px solid black; padding: 5px;">めあて：まわしよみ新聞をつくり、発信していきたい内容を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに対する関心をもたせる。
展 開	<p>○まわしよみ新聞について作り方とともに説明する。(10分)</p> <p>○まわしよみタイム (20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読み、テーマに係る関心を持った記事を2枚程度切り抜く。(選んだ理由も考える) <p>○おはなしタイム (20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班で、切り抜いた記事を各自が発表する。選んだ理由を語り、班内で記事について話し合う。 <p style="text-align: center;">~~~~~ 1時間目終了~~~~~</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとに話を進める。 ・雑談のようになるが、テーマからそれすぎないように注意する。 ・どの記事をトップ記事にするかが大切 ・新聞名、発行年月日

	<p>○新聞編集タイム（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに模造紙に、切り抜いた記事を、レイアウトを考えて貼り付ける。記事の脇には出典先の新聞名や簡単な感想を書き込む。 <p>○まわしよみタイム（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班で作成した「まわしよみ新聞」を見ながら、コメントを付箋紙に書き込みながら各班の新聞に貼り付ける。 ・まわしよみタイムが終わったら、黒板に貼り付ける。 <p>○クラスで取り上げたい内容について出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由を含めて発表させる。 	<p>は必ず記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班の机上にまわしよみ新聞を置いておき、教室を回りながら新聞に目を通す。
<p>ま と め</p>	<p>○発信したい内容を絞り込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班での話し合いや、発表者の意見をもとにクラスで取り組む中心内容を絞り込む。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まわしよみ新聞をしての感想 ・今日学んだことを次にどのように活かしていきたいか ・発表に向けてのビジョン 	<ul style="list-style-type: none"> ・絞り込む内容は1つでなくてもよい。テーマに関連していること、意図が伝わること。

※作成したまわしよみ新聞は学級で掲示したり、廊下側に掲示して目の届くところに置いておくのも良いかもしれません。

「まわしよみ新聞」の作り方

3



「気になる!」「おもしろい!」「これは…」
という記事を切り抜きます。

広告でもコラムでも天気予報でもなんでもOK
です。いかに小さい記事でみんなを引き付け
るか?が醍醐味です。

4



ひとり1枚ずつ記事をプレゼンしてい
きます。なんてこの記事を切り抜いた
のか?を語ります。

どんな記事を切り抜いたか?どんなプレゼン
するか?で自分の知性がモロバレです。

1



この新聞
もってきました!

会社、カフェ、コミュニティ・スペース
などに新聞を持ち寄ります。

五大新聞もいいですが、業界新聞やスポーツ新聞、
地方新聞も無いです。[*ハサミ、ノリ、四つ切画
用紙(推奨)、ボスカ(推奨)も用意します。]

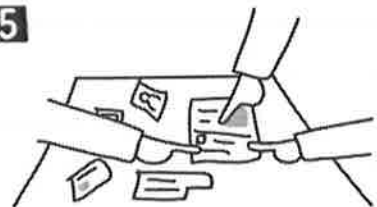
2



みんなで新聞を読みます。

足を組んでコーヒ一片手にちょっとヤンエグ
(死語) 気分で。

5



みんなで「今日のトップ記事!」を決めて
上から順番にはっていきます。

四つ切画用紙の表裏に記事をはり、切り抜いた人
(新聞斬者)の名前も書き入れます
[*切り抜いた大きさにもよりますが記事は10枚
~20枚ほど入ります]

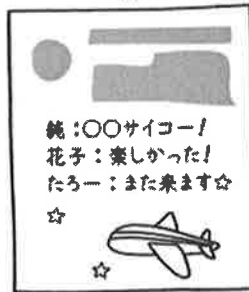
6

<表>



まわしよみ新聞
○年○月○日
編集局(切り抜いた場所)

<裏>



純:○○サイコー!
花子:楽しかった!
たろー:また来ます☆
☆

完成!

表に「まわしよみ新聞」と日付と編集局(切り抜いた
場所)裏に「編集後記」(感想と名前)を記載して完成!

「まわしよみ新聞できたよ!」といって、みんなでまわしよみしましょう!

10月3日(木) 海洋教育 (5・6校時)

1 ねらい

学級のテーマに沿って発信したい内容とその方法を話し合い、取り組みの計画を立てる。

2 準備物

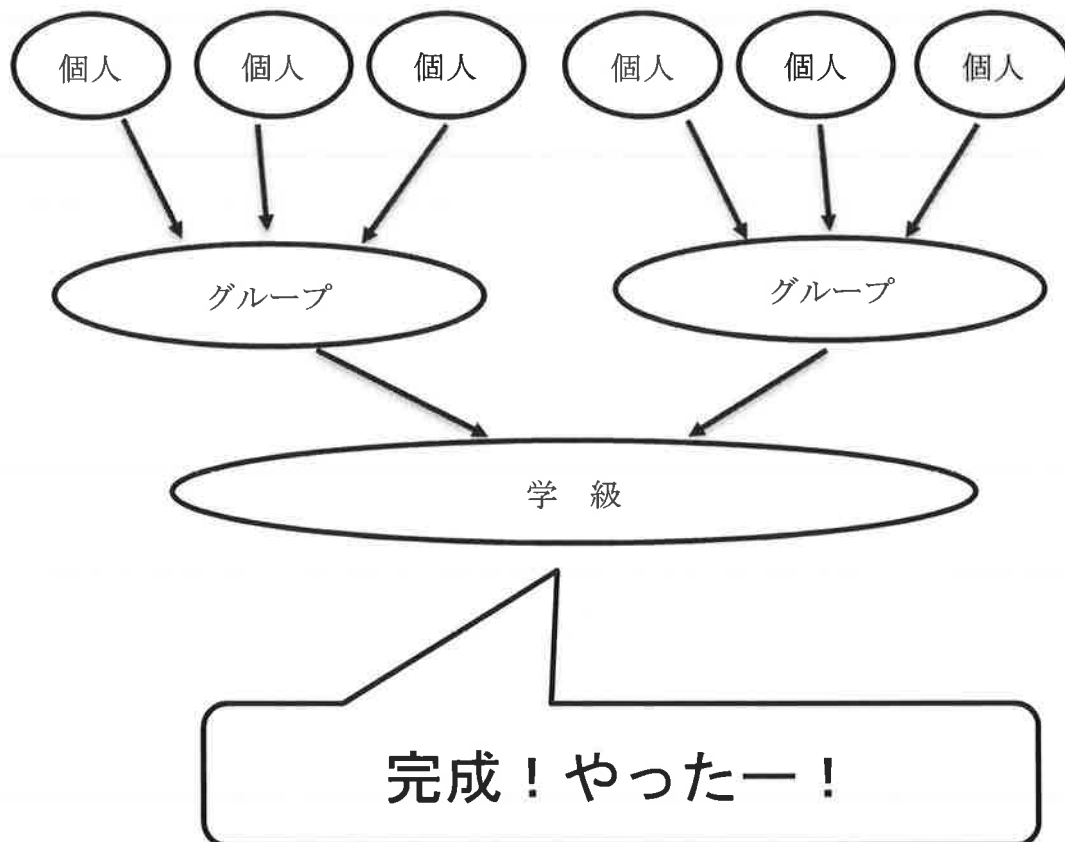
- ・計画書 (ワークシート)

3 学習内容 (2時間構成)

	学 習 活 動	留 意 点
導 入	<p>○前時までの内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマの確認。 ・まわしよみ新聞はどうだったか。 ・考えや意見が変わったり深まったりしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習の流れを黒板に示す。 ・まわしよみ新聞を黒板や壁面に示す。
	<p>めあて：テーマをもとに、外に発信するためのクラスで取り組むことの計画を立てる。</p>	
展 開	<p>○テーマに沿った中心となる発信したい内容・その方法（アウトプット）を決める。（決まっていれば、計画書を進める。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの案を出させて、話し合いながら中心となる内容を検討する。 <p>○取り組みたいことから、ねらい、取組内容、準備、役割分担、その他（アピールポイント、工夫することなど）を決めていく。</p> <p>個人（10分） → グループ（20分）</p> <p>~~~~~1時間目終了~~~~~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合い、項目ごとに発表させ、学級で1つの計画書を作り上げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の学習や、まわしよみ新聞、普段の教科の授業などを振り返る。 ・初めに個人で考える。一人一人がリーダーになったとしたらどんなことをしたいのかという意識を持たせたい。 ・グループでまとめるときは、各項目でより良いものを選んだりあわせたりさせる。

まとめ	<p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none">・計画した内容を確認する。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none">・これからの取り組みについて、どのように行動していけばよいか。自分に何ができるのかを発表させる。	
-----	---	--

計画書完成までのイメージ



計画書①（個人用）

作成年月日

1年 組 番 氏名：

テーマ：

項目	内容
1 目的(理由) 何のためにどのようなことを行うのか	取り組む内容を、どのように相手に説明するかを文章で書く
2 取組内容 どのような方法で何をするのか	箇条書きでもよい
3 準備 必要な物、場所、時間	箇条書きでもよい
4 役割分担 誰が何をして完成させるのか	箇条書きでもよい
5 その他	箇条書きでもよい

計画書②（学級確認用）

作成年月日 _____

テーマ：

項目	内容
1 目的 (何のためにどのようなことを行うのか)	
2 取組内容 (どのような方法で何をするのか)	
3 準備 (必要な物、場所、時間)	
4 役割分担 (誰が何をして完成させるのか)	
5 その他	

糸満中学校1学年 総合学習(海洋教育)実施要項

1. テーマ: 『ふるさと糸満 100 年計画』

～糸満の海を取り巻く様々な課題をテーマにし、私たちにできることを考えよう～

2. ねらい: (1) 学級で選択した糸満の海に関連するテーマのもと、海に対する関心を高める。
 (2) 地域の団体、個人または企業と連携し、将来の糸満市を担う生徒自身の視野を広げ、様々な可能性を考える機会とする。
 (3) 生徒自身が様々なアイデアを出しあいながら、海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し(ESD)、利用することを考える機会とする。

3. 日 時: 11月1日(金)1～4校時(校内外で活動) ※雨天の場合は校内での活動(検討)

※給食あり 5・6校時(校内で午前中のまとめ)

4. 服 装: 学校指定ジャージ or 体育着

5. 持ち物: 筆記用具、水筒、帽子、タオル※雨天時には傘・雨具(カッパが適当)
 ※各クラスで準備するもの(カメラ等)

6. 対 象: 1年生171名 ・ 引率職員 17名 ※各コースに配置

7. 学習内容・場所

学級	活動テーマ	活動目標	活動内容	活動場所	引率教諭(案)	協力団体・企業・個人
1組	地域行事	地域行事(ハーレー・十五夜・ふるさと祭り)への参加者が減少している現状を解決したい。	動画撮影	教室 PC 教室 美々ビーチ	貴恵 允冲 千秋	・市民活動支援センターまちテラス(川門さん) ・市広報(調整中) ・その他メディア(調整)
2組	漁業環境	環境を守りながら、漁師をやってみたいという人を増やしたい。	CM・ポスター作製	美々ビーチ 漁港 PC 教室	興一朗 孝子 祐里乃 大希	・市民活動支援センターまちテラス(川門さん) ・糸満漁協協同組合(調整) ・市広報(調整中)
3組	環境	ビーチクリーンで海のゴミを拾い集め、そのゴミを利用して作品を作りながら、海の環境問題について考える機会にしたい。	ビーチクリーン・海ゴミアート作成	美々ビーチ	優 立誠 有紗	・糸満市観光協会 ・美々ビーチ管理事務所
4組	食文化	食を通して糸満を盛り上げたい。	かまぼこスムージー試作	家庭科室	佐綾香 紀子 綾乃	・市商工観光課(上原さん) ・西ヘージョー小(玉城さん) ・ファーマーズ糸満(原さん) ・デトックスカフェ felicidad(仲間さん)
5組	生物	生物保護を目的とした取り組み活動を行いたい。	雨水溝へのプリント活動	教室 校区内雨水溝	三浦 克枝 柴田 伊敷	・海 of 自然史研究所(森さん・今宮さん) ・市建設課 ・糸満署交通課

1・2・3・5組は、緊急時の対応に備え車を一台出すこと ※運転手を事前に決めておく

8. 校外学習の際の移動手段

徒歩 ➡ 5組 車(学校車・職員車・保護者車) ➡ 1・2・3組

※4組は終日校内での学習

9. 役割分担

- (1) 集合整列..... (三浦)
- (2) 校外学習についての説明及び諸注意..... (立誠)
 - ① 校外学習の意義について(再確認)
 - ② 郊外での活動・移動時の安全面について
- (3) カメラ (各コース担当)
- (4) 校内待機・緊急時対応..... (各コース担当・秀太・祐里乃)
- (5) 講師との事前調整..... (各担任・立誠)

10. 当日の流れ:

(1)	～ 8:00	登校・出席確認(各学級)
(2)	8:10～ 8:15	学年フロアでテーマごとのグループに整列し諸注意を聞く ①校外学習の意義(立誠) ②校外での活動・移動時の安全面について(三浦)
(3)	8:15～ 8:30	各グループに別れ、担当職員と確認事項と諸連絡
(4)	8:30～ 8:55	各グループで移動
(5)	9:00～11:40	各活動場所にて活動
(6)	11:40～12:10	活動終了後学校へ移動
(7)	12:10～12:25	休憩
(8)	12:25～12:40	給食準備(各学級)
		以後 早開始日課の時間で5・6時間目を行う

11. 安全管理・緊急時について

- (1) 職員は、安全に関する注意事項を事前学習中や前日の帰りの会、当日の朝にしっかりと行い、生徒へ安全管理の意識付けをさせる。また、教師の指示に従うよう徹底させる。
- (2) 引率職員は、活動中に体調不良の生徒が出た場合、速やかに学校へ連絡をする。その後、待機職員 (秋太・祐里乃) が 保護者へ連絡し引き取ってもらう。
- (3) 引率職員は、校外学習当日は暑さによる熱中症が予想されるため、移動中にはあらかじめ決めておいた位置で休憩をとり、水分補給を行い、生徒の体調面に十分配慮する。
- (4) 職員は、校外での事故が発生した場合には、生徒の安全を最優先に行動し、管理職、学年主任への報告を徹底する。場合によっては、救急車の要請をその場で行うことも想定しておく。

12. 配車計画

学級	配車
1組	タマン
2組	
3組	海青・立誠号・親協力
4組	なし
5組	珊瑚(軽)

13. その他

- (1) 保険を掛ける

ビーチクリーン&海洋ゴミアート作成

プロジェクトのねらい

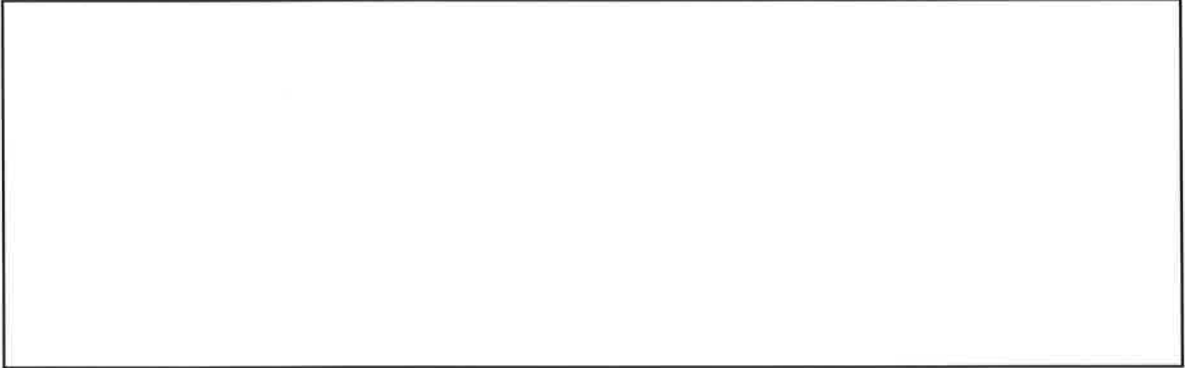
- ① ビーチクリーンを通して糸満の海の現状とその課題について調べる
- ② 収集した海洋ゴミからオブジェを作成し、海洋問題を提起する

プロジェクトの流れ

- ① 11月1日(金) 1.美々ビーチにてビーチクリーンを実施する
2.収集したゴミを分別し、どのようなゴミが多いのか調べる
3.収集したゴミを色分別し、オブジェの材料に仕分ける
4.オブジェ制作イメージ、制作作業開始(イメージ構想)
- ② 11月5日(火) 発表準備(2時間) オブジェ制作作業、発表資料まとめ作業
- ③ 11月12日(火) 発表準備(1時間) オブジェ制作作業、発表資料まとめ作業
- ④ 11月21日(木) 発表準備(2時間) オブジェ制作作業、発表資料まとめ作業
- ⑤ 11月26日(火) 実践発表会

今日決めること

・ビーチクリーンに必要な準備物



・係決め……どんな係が必要ですか？

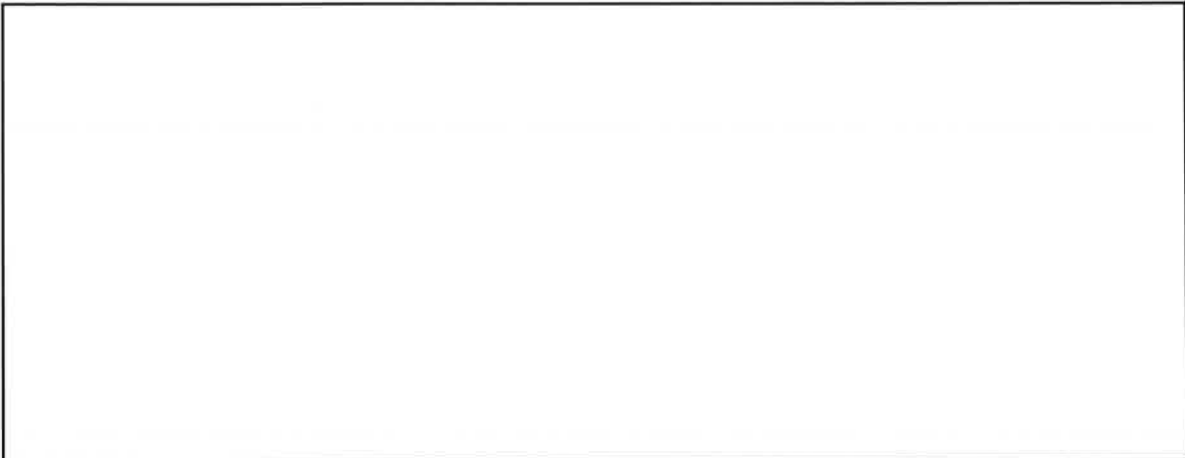
美々ビーチへの電話



・ビーチクリーンの方法……ゴミを分別するには？どのように分別する？



・オブジェづくりに必要なもの



令和元年度 1 学年総合的な学習の時間
～1 年 5 組「この先、海です」プロジェクト糸満 Ver.～(案)

- 1 テーマ: 生物の保全「人の手によって、生物に害を与えられていることについて知ってもらおう」
- 2 ねらい: (1) 海の生物の生態や人の活動による影響について知り、海洋生物の保全について関心を高める。
(2) 雨水溝を通じて海や川が汚れるのを未然に防ぐために、道路を利用する地域の人に働きかける。
(3) 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し(ESD)、利用することを考える機会とする。
- 3 日時: 令和元年 11 月 1 日(金) 1～6 校時
※悪天候が予想される場合は校内での活動を行う。
- 4 服装: 学校指定ジャージ及び体育着
- 5 持ち物: 総合ファイル、筆記用具、水筒、帽子、タオル
- 6 対象: 1 年 5 組 (男子 17 名、女子 18 名 計 35 名)
- 7 職員: 三浦 浩之(担任)、克枝(スクールサポーター)、柴田 (学習支援員)、伊敷(ヘルパー)
- 8 講師: NOP 法人海の自然研究所 森 有紀子さん、今宮 則子さん
- 9 対応: (1) 講師は、9 時 10 分頃に来校して頂く。
※スクールゾーンの取締時間について講師への周知を徹底する。
講師が来校したら三浦が校長室へ案内し、その後 1 年 5 組の教室まで案内する。
(2) 生徒は、講師が到着するまでは、担当職員が生徒を管理する。
(3) 全員体育着登校(必要に応じてジャージ上下持参)とする。郊外での活動時は着帽(熱中症予防)。
(4) 当日は公道(市道)で活動するため、事前、当日の安全面の注意を徹底する。
※活動場所については、ペイント予定位置図を参照
- 9 役割分担:(1) 生徒管理..... (三浦)
(2) 校外での活動・移動についての説明及び諸注意 (三浦)
(3) カメラ..... (三浦)
(4) 郊外活動時の安全管理 (克枝、柴田、伊敷)
(5) 講師との事前調整..... (三浦)
(6) 学校車(軽) (克枝)

10 当日の流れ:

- | | | |
|-----|-------------|---|
| (1) | ～ 8:00 | 登校・出席確認(各学級) |
| (2) | 8:10～ 8:15 | 学年フロアでテーマごとのグループに整列し諸注意を聞く
①校外学習の意義(立誠)
②校外での活動・移動時の安全面について(三浦) |
| (3) | 8:15～ 8:25 | 教室にて確認事項と諸連絡 |
| (4) | 8:35～ 9:10 | 活動に向けての準備 |
| (5) | 9:10～11:25 | 教室にて講話、アクティビティ(講師) |
| (6) | 11:25～12:25 | 校外活動の諸連絡や注意事項の説明(三浦) |
| (7) | 12:25～13:35 | 給食(講師は教室で生徒とともに給食をとる)、清掃 |
| (8) | 13:35～15:00 | <u>移動(校外へ)、校外でのペイント活動、移動(学校へ)</u> |
| (9) | 15:00～15:25 | まとめ、振り返り |

11 安全管理・緊急時について

- (1) 担任は、安全に関する注意事項を事前学習中や前日の帰りの会、当日の朝にしっかりと行い、生徒へ安全管理の意識付けをさせる。また、教師の指示に従うよう徹底させる。
- (2) 引率職員は、活動中に生徒の体調不良や事故等が発生した場合、速やかに学校車で学校へ連れて行くとともに学校へ連絡をする。または、待機職員(秋太、祐里乃)が学校へ連れてきて保護者へ連絡し引き取ってもらう。
- (3) 引率職員は、校外学習当日は暑さによる熱中症が予想されるため、校外での活動時には適宜休憩をとりながら水分補給を行い、生徒の体調面に十分配慮する。
- (4) 職員は、校内外での事故が発生した場合には、生徒の安全を最優先に行動し、管理職、学年主任への報告を徹底する。場合によっては、救急車の要請をその場で行うことも想定しておく。

12 校外活動(ペイント実施予定位置)



13 その他

- (1) 前日にペイント実施予定位置に、白色ペンキで下地を塗装する。(16時以降)

平成31年度

2学年遠足 ～ビーチクリーン作戦～
海洋パイオニアスクール

- 1 ねらい (1) 学年レクや学級レクを通して、学級の団結や協力を養う。
(2) 体験を通して、社会における公共のマナー、規律、礼儀等を学び豊かな人格を培う機会とする。
(3) 観光業が盛んな本県の海のゴミや環境問題を知るための清掃活動を行い関心を高める。
- 2 期日 平成31年4月22日(月)
- 3 場所 豊崎海浜公園
- 4 実施内容 ビーチクリーン、遠足
- 5 体験時間 午前8時30分～午後2時
- 6 対象学年 2学年(151名)
- 7 対応 (1) 現地集合、現地から徒歩で沖縄水産高等学校まで徒歩、現地解散。
(2) トレパン中体育着登校とする。帽子奨励。(日焼け止め)
(3) 学級レクや学年レクで必要なものは、レク担当と相談して学校車に搬入する。
(4) 身なりが悪い生徒は、事前に親に伝えて協力をお願いする。
(5) 午前中にクリーン活動を行う。(ゴミ袋は管理事務所から事前に連絡してもらう)
(6) 連休明けの遠足なので生徒には事前に担任から伝える。
- 8 役割
- 集合・整列・公園の使用ルール・安全指導(学年生徒指導)
 - ハンドマイク(学年生徒指導)
 - ビーチクリーン(事前に袋など公園管理側と確認)(学年主任)
 - 学年レク担当()
 - 学級レク担当()
 - 学校車・救急箱()
 - 写真()
 - キーパー担当○弁当注文()
 - 海に関する事前アンケート作成(カヨ子)
- 9 当日の流れ
- | | | | |
|--------------|-------|---|----------------|
| 出席確認 | 9:00 | ～ | 9:15 |
| ビーチクリーンの説明 | 9:15 | ～ | 9:25 |
| ビーチクリーン(3名組) | 9:30 | ～ | 10:00(水分補給) |
| 学年レク | 10:10 | ～ | 11:30 |
| 昼食 | 11:30 | ～ | 12:30 |
| 学級レク | 12:30 | ～ | 13:30(片付けまで含む) |
| 集合・整列 | 13:40 | ～ | 14:00(整列次第出発) |

9 関連の取組

- (1) ビーチクリーン、遠足(4月22日月)
- (2) 魚料理コンテスト(5月30日木)
- (3) 職業人講話・実演会(7月)
- (4) マナー講座(10月8日予定)
- (5) 海洋教育のまとめ(2月予定)

2学年魚料理(県産魚)体験実施要項

1. ねらい

- (1) 魚を捌き、料理体験を通して沖縄県産の魚について知る機会とする。
- (2) アンマー市場で直接魚の種類や料理方法をプロから聞くことを通して、糸満市の食文化への興味関心を育てる。
- (3) 海洋資源に関する講演から、故郷の海の豊かさを実感する機会とする。

2. 日時 令和元年5月30日(木) 8:30~15:00 ※集合場所(糸満青少年の家 2階講堂)

3. 引率者 2学年職員(峰子、山城、熱田、麻乃、勝樹、カヨ子、公平、あかり、陽、伊佐、大希) 引率教諭11名

4. 対象 糸満中学校2学年 151名

5. 場所 沖縄県立糸満青少年の家(糸満市賀数347番地)

6. 日程
- 8:30...糸満青年の家・出席確認・トイレ
 - 8:45...開会式・安全指導
 - 9:00...流れを確認後キャンプ場へ移動
 - 9:10...調理開始
 - 12:00...昼食
 - 12:45...片付け(キャンプ場→講堂へ)
 - 13:30...移動・講堂で着席
 - 13:40...閉会式・料理コンテスト表彰(講堂)
 - 14:00...学校へ移動
 - 15:00...照屋方面から、学級で解散

7. 事後指導 事前事後アンケート

8. 役割分担

- (1)実施要項作成、講師との事前打合せ、物品借用... (カヨ子)
- (2)渉外(公文・発送) ... (カヨ子)
- (3)職員用キーパー・氷(生徒用・職員用)、コップ ... (勝樹)
- (4)ブルーシート大2枚キャンプ場 ... (山城)
- (5)救急箱1、ゴミ袋(10枚入り×4)、ロールティッシュ... (熱田)
- (6)開会式・閉会式司会指導 ... (峰子)
- (7)お礼の言葉指導 ... (峰子)
- (8)カメラ ... (伊佐)
- (9)ワークシート担当 ... (カヨ子)
- (10)手袋、クレンザー(各学級1本程度)、忘れた班用(調味料)など(麻乃)
- (11)集合整列 ... (緑間)
- (12)アンケート事前、事後 ... (カヨ子)
- (13)コンテスト副賞(班メンバー)・職員おにぎり ... (あかり)
- (14)学校車1台(緊急用・荷物運ぶ) ... (伊佐)
- (15)生徒用キーパー(補充用) ... (公平)

9. 安全管理について

- (1)包丁を使用するので安全に気をつけて使用することを確認する。
- (2)一人では、行動しないようにする。
- (3)安全に関する注意事項を開会式の中でも行う。
- (4)危険な行動はしない。
- (5)体調が悪くなりそうな時は、近くの友達か先生に声かける。
- (6)かまは16個(各学級4個) 各学級10~9名×4グループ(5月学級の号車がグループになる)
- (7)下校は隊列2列 列を乱さない。(信号等でクラスが分断しないように待つ)途中列を整える。

10. 当日の服装 体育着上下・靴(集合時)・軍手すべり止めつき(魚のぬめりでけがをするので)

11. 持ち物 着替え上下・タオル・飲み物・ビニール袋・筆記用具・飲み物(水筒又はペットボトル1.5ℓ以上)

※雨天時は、傘やレインコートを準備してください。

※お菓子、漫画、ゲーム機器、携帯電話等は持ってこない。

【開会式会順】

1. はじめの挨拶(司会:生徒)
2. ねらい(教諭)
3. 今日の大まかな流れと諸注意(教諭)
4. その他

【閉会式会順】

1. はじめの挨拶(司会:生徒)
2. 今日の感想とお礼(生徒数名)
3. 料理コンテスト表彰
4. 教諭より一言(教諭代表)
5. おわりの挨拶(司会)

平成 31年度 海洋教育パイオニアスクール
～ビーチクリーン作戦(3学年)～(案)

平成 31 年 4 月 5 日(金)

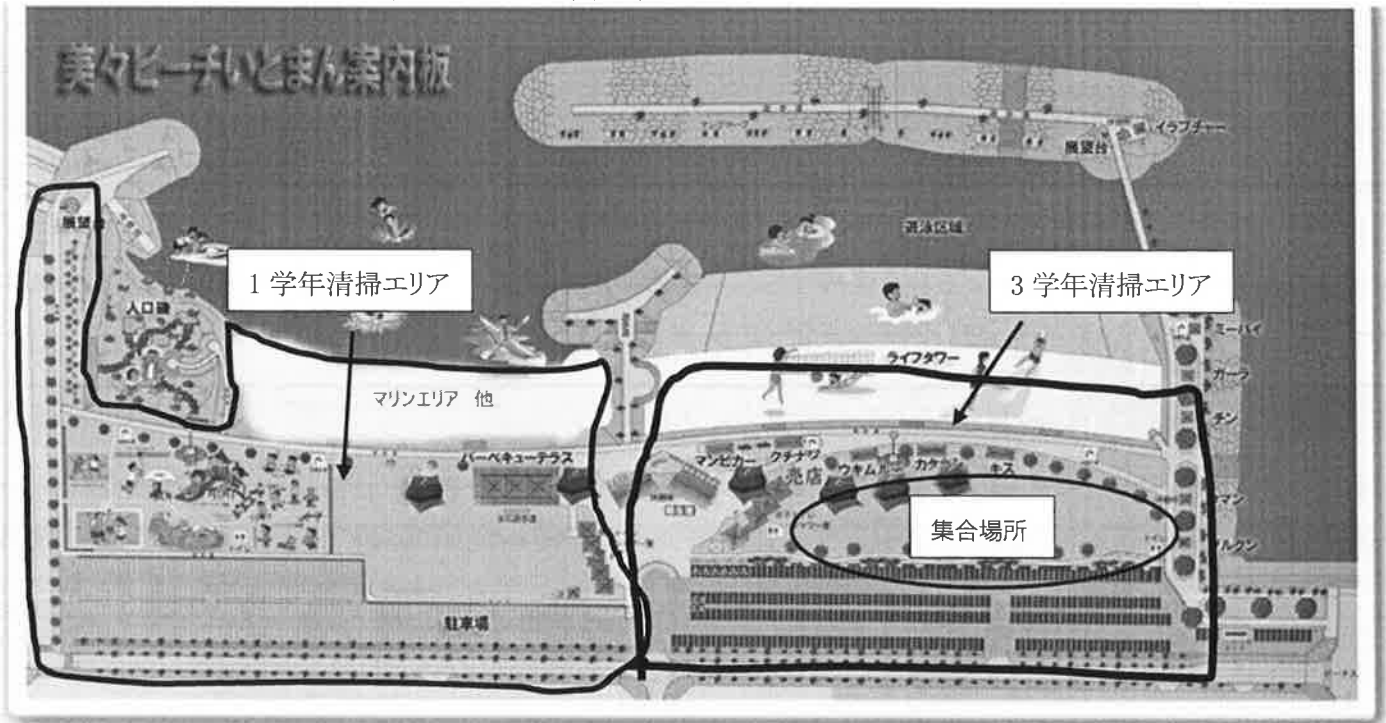
- 1 ね ら い: (1) 学年レクを生徒自ら主体的に企画、運営することで自治力を育て、学級の団結や協力を深める。
(2) 体験を通して、社会における公共のマナー、規律、礼儀等を学び豊かな人格を培う機会とする。
(3) ビーチクリーンを通して、海の豊かさを知り、持続可能な社会を考える機会とする。
- 2 日 時: 平成 31 年 4 月 22 日(月) 午前 9 時 00 分～午後 2 時※悪天候が予想される場合は前日に態度決定
(当日判断の場合の細かい調整は検討中)
- 3 場 所: 美々ビーチいとまん 〒901-0306 糸満市西崎町 1 丁目 6 番 15 TEL:098-840-3451
- 4 実 施 内 容: ビーチクリーン&学年親睦
- 5 対 象 学 年: 3学年(149 名)
- 6 引 率 者: 行乃、裕哉、博之、酒屋、紀子、宗、智恵子、実康、昇太、美和、詩織 (11 人)
- 7 持 ち 物: 水筒、弁当、おやつ(500円程度)
- 8 対 応:
- (1) 行き⇒美々ビーチ集合②帰り⇒現地から職員引率の元沖繩水産高等学校まで徒歩 ⇒現地解散
 - (2) トレパン中体育着登校とする。帽子奨励。(日焼け止め)
 - (3) 学年レクで必要なものは、レク担当と相談して学校車に搬入する。
 - (4) 身なりが悪い生徒は、事前に親に伝えて協力をお願いする。
 - (5) 午前中にクリーン活動を行う。(ゴミ袋は管理事務所から事前に連絡してもらう)
 - (6) 週明けの遠足なので、担任は持ち物や集合時間をしっかり伝える。
- 9 役 割 分 担:
- (1)集合整列 ()
 - (2)ビーチクリーン(事前に袋など公園管理側と確認) ()
 - ①袋は美々ビーチから提供有
 - ②ゴミも美々ビーチ引き取り可
 - ア. ペットボトルは燃えるゴミへ
 - イ. ビンと缶は袋を分ける
 - (3)学年レク担当 ()
 - (4)学校車(taman 号) ()
 - ①糸満中学校関係者の車は駐車無料
 - (5)トイレトペーパー・ゴミ袋 ()
 - (6)救急箱 ()
 - (7)カメラ..... ()
 - (8)ハンドマイク①..... ()
 - (9)キーパー③クレーラーボックス① ()
 - (10)簡易テント②&土嚢② ()
 - (11)職員弁当手配 ()

10 当日の流れ:

(1) 9:00~9:15	出席確認	(1学年・3学年集合場所同じ)
(2) 9:15~9:25	開会式	(司会: 生徒)
		①今日の日程について(行乃) ②ビーチクリーンについて(立誠) ③安全面について(美々ビーチ副支配人 外間隆之さん)
(3) 9:30~10:00	ビーチクリーン(3名1組)	
(4) 10:10~11:30	学年レク part 1	(バレー・サッカーコート使用可)
(5) 11:30~12:30	昼食	
(6) 12:30~13:30	学年レク part 2	(バレー・サッカーコート使用可) (片付けまで含む)
(7) 13:40~14:00	集合・整列(学年ごと)	(整列次第3年生から出発)

11 安全管理について

- (1)安全に関する注意事項を、開会式の中で行う
- (2)交通事故から生徒を守るため、自転車での来園は禁止する



12 帰宅路

美々ビーチから徒歩で2km



海洋教育について

主な学習活動

- (1) 海に親しむ
- (2) 海鮮料理について学習する → 海を取り巻く課題について調べる
- (3) 海辺のものを活用してフォトフレームをつくる
- (4) 学習内容のまとめ

学習計画


過程	学期	月	日	時数	累計	活動内容	進捗
課題設定	1 学期	4	19	1	1	総合オリエンテーション（海洋教育について） ・遠足の目的、諸注意など	済
			22	6	7	遠足（ビーチクリーン、学年レク）	済
		5	14	1	8	糸満の海について考える（課題設定）	済
			30	2	10	調べ学習①	済
		6	14	1	11	◎平和学習会	済
		課題探求	1 学期	7	2	1	12
9	6				18	校外学習（1～3時間目） ・テーマごとに、校外の施設の取り組みを取材したいり質問をして情報を集める。または、来校してもらい話を聞く。 まとめ（4～6時間目） ・収集した情報をもとに改善方法を考え、発表の準備を行う。	
16	1				19	発表会 ・各学級で、自分のグループで調べた内容を発表する。	
2 学期	9		3	2	23	2学期の総合の流れの確認 フォトフレーム作成①	
			10	1	24	○綱作り講習会	
			13	4	28	◆糸満大綱	
			27	2	30	フォトフレーム作成②	
	10		1	2	32	フォトフレーム作成③	
			8	2	34	琉球大学での学習に向けた事前学習①	
			15	2	36	琉球大学での学習に向けた事前学習②	
			31	6	42	琉球大学での学習	

海洋教育について

4月19日(金) 6時間目 総合的な学習の時間


ビーチクリーン作戦のねらい

- * 学年レクを生徒自ら主体的に企画、運営することで自治力を育て、学級の団結や協力を深める。




ビーチクリーン作戦のねらい

- * 体験を通して、社会における公共のマナー、規律、礼儀等を学び豊かな人格を養う機会とする。




ビーチクリーン作戦のねらい

- * ビーチクリーンを通して、海の豊かさを知り、持続可能な社会を考える機会とする。



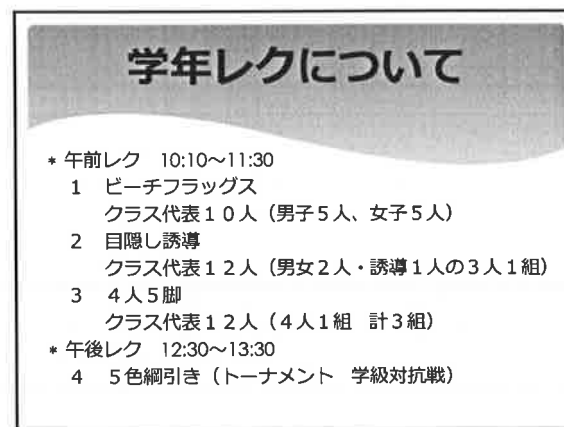
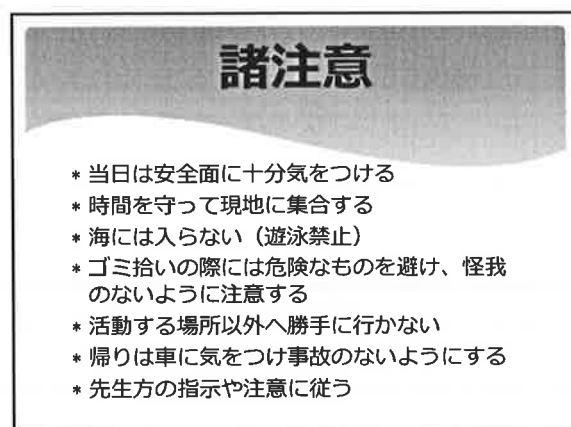
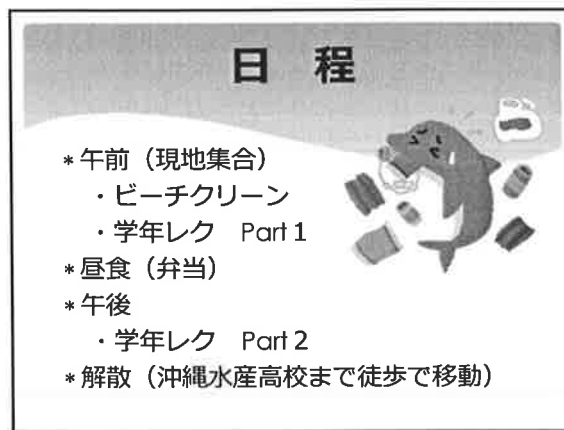
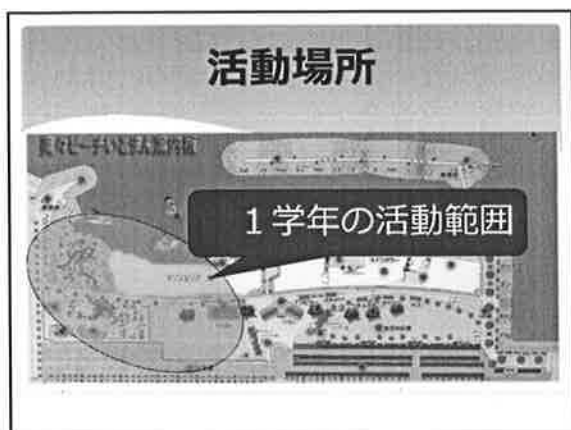
概要

- * 日時：平成31年4月22日(月)
午前9時～午後2時
- * 場所：美々ビーチいとまん
- * 参加者：1学年(169名)
- * 持ち物：水筒、弁当、おやつ
帽子、タオル
- * 服装：トレパン(中は体育着)



活動場所





12.日程

月	日	曜日	時数	学 習	備 考
4	26	金	1	オリエンテーション 班長決め・役割分担決め	ファイルにワークシートを準備 5月の席替え
5	7	火	2	8:35 玄関集合 9:00～ アンマー市場で魚を見る さばき方・料理方法を質問 (1組、2組) 10:00までに～出発	2学年だけ5、6校時と1、2校時交換 図書館(調べ学習)3組(1時間) パソコン室(調べ学習)4組(1時間) 1時間交換する。
5	7	火	2	10:35玄関集合 11:00～ 3校時アンマー市場で魚を見る・ さばき方、料理法など質問 (3組、4組) 12:00までに～出発	2学年だけ5、6校時と3、4校時交換 図書館(調べ学習)1組(1時間) パソコン室(調べ学習)2組(1時間) 1時間交換する。 料理レシピ宿題
5	14	火	1	個人ワークシートのまとめ(1h)。 魚について・レシピ・魚の種類 (事前に注文するため)など	★料理レシピ・班分け10人1班 (男女混合)・魚の種類を選ぶ (各学級¥26000 アンマー市場注文)
5	28	火	1	事前準備(班別確認)	持ち物・役割分担の確認 調理実習の計画
5	30	木		糸満青少年の家で体験	魚捌き 料理コンテスト (プロ委員、学年職員審査員)
5	31	金		感想記入 事後アンケートの実施	

3 学年 海洋教育計画

3 学年主な学習活動

学習計画

学期	月	日	時数	累計	活動内容	進捗
1 学期	4	19	1	1	海洋教育についてオリエンテーション ・事前アンケート実施 ・遠足の目的、諸注意など	
		22	6	7	遠足（ビーチクリーン、学年レク）	
		26	1	8	帆掛けサバニの歴史について理解する。	
	5	28	1	9	新糸満造船所について事前学習	
		30	6	15	校外学習（1～6時間） ・新糸満造船所見学・帆掛けサバニ漕ぎ体験・ロープワーク・ 手旗信号・ビーチクリーン	
	6	25	1	16	救急救命体験活動時バディ組	
	7	2	1	17	海ゴミ問題について 沖縄水産高等学校による講話	
		9	6	23	校外学習（1～6時間） ・救急救命講習（陸と海）・マリンスポーツ体験 ・事後アンケート実施	
3 学期	1	10			糸満市教育の日において 代表者が英語で実践発表	
	2	1			沖縄科学技術大学院大学 第4回沖縄県キャリア教育シンポジウムにて英語で実践報告	

海洋教育パイオニアスクール（事前アンケート）

糸満中学校3年 組 番 氏名 _____

1. 海の自然に親しんだり海に行ったりすることが好きですか。

ア. とても好き イ. 好き ウ. あまり好きではない エ. 好きではない

その理由

2. 海の環境について関心がありますか。

ア. とてもある イ. ある ウ. あまりない エ. 全くない

その理由

3. 海に関わる職業について知っていますか。

ア. よく知っている イ. 知っている ウ. 少し知っている エ. 知らない

その理由

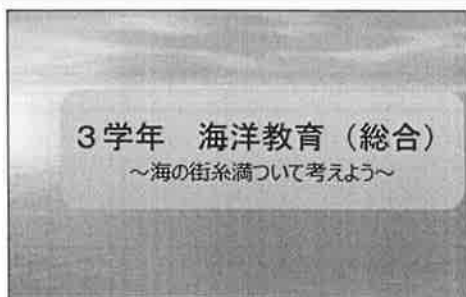
4. 糸満の海について調べてみたいこと、知りたい事はありますか。

ア. たくさんある イ. ある ウ. あまりない エ. 全くない

知りたい事（例：ハーレーの歴史、海人について、サバニについて等）

5. 糸満市と海の関係について思い浮かぶことを挙げてください。（いくつ挙げてても可）

スライド 1



これから3学年 海洋教育オリエンテーションを行います。

スライド 2



まず始めに、昨年度の海洋教育を振り返ってみましょう。何をしましたか。

スライド 3



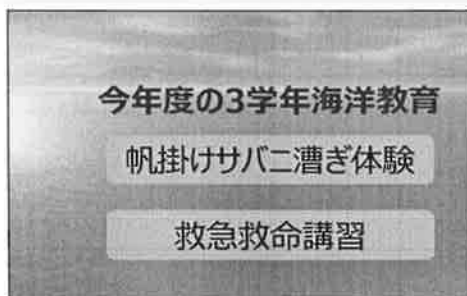
1 1月にアンマー市場ではインタビューを実施 (旬の魚が何かとか魚のさばき方とか)

スライド 4



1月には糸満青少年の家で実際に魚料理に挑戦しました。

スライド 5



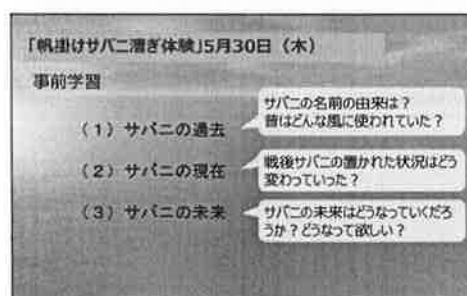
次に今年度の取り組みです。今年度はこの2つを学習します。まず一つ～。2つめは～。

スライド 6



サバニってわかりますか。これです。

スライド 7



事前にサバニについて学んでから体験学習に入っていきたいと思います。

スライド 8



当日は帆掛けサバニ進行会と沖縄水産高等学校の生徒に漕ぎ方を学びます。この機会に沖縄水産高等学校の海洋技術科に興味のある生徒は高校の話も聞いてみるといいと思います。

スライド 9



実際に漕いでいる様子です。

スライド
10



磯釣り体験の様子

スライド
11



また、船舶関係に必要なロープワークも体験します。

スライド
12



最後に感謝の意味を込めてビーチクリーンを行います。

スライド
13



次に救急救命講習会です。

スライド
14

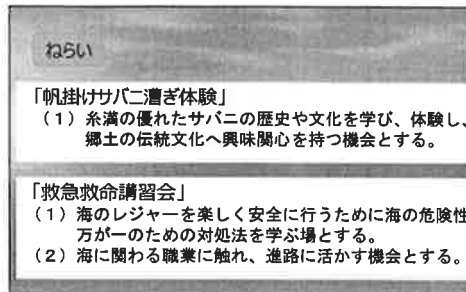


実際にライフセーバーの方から指導をうけます。ライフセーバーという職業についても学べる良い機会になると思います。

スライド
15



スライド
16



最後に、なぜこのような体験学習を行うかという「ねらい」ですが、

スライド
17



「海洋教育体験活動」実施要項

1. ねらい

- (1) 糸満市の優れたサバニの歴史や文化を学ぶと共に、サバニを漕ぐ体験を通して、糸満市の伝統文化への興味関心を育てる。
- (2) ビーチクリーンを通して、海の豊かさを知り、持続可能な社会を考える機会とする。
- (3) 海に関わる職業に触れ、自己の生き方や進路に対する意識、進路選択能力等の向上に結びつける。

2. 日 時: 令和元年 5 月 30 日 (木) 8:15~15:30 (天候判断は前日判断)

3. 講 師: 糸満市帆掛サバニ振興会(4 人) 連携: 沖縄県立沖縄水産高等学校(教諭 5 人 生徒 39 人)

4. 体験場所: 美々ビーチいとまん 〒901-0306 糸満市西崎町 1 丁目 6 番 15 TEL:098-840-3451

5. 実施内容: 午前中

- (1) 糸満造船所見学(全体)
午後 4 つの活動を 45 分のローテーションで実施
- (1) 帆掛けサバニ漕ぎ体験(38 人)
- (2) ビーチクリーン(38 人)
- (3) ロープワーク(38 人)
- (4) 手旗信号(38 人)

6. 対象学年: 3 学年(149 名)

7. 引 率 者:

8. 持 ち 物: 水筒、弁当、濡れても良い恰好(部着上下 2 着程度)、タオル、ビニール袋(着替え用)

9. 対 応:
- (1) 学校集合⇒徒歩で新造船所へ移動
 - (2) 帰り⇒現地から職員引率の元沖縄水産高等学校まで徒歩 ⇒現地解散
 - (3) トレパン中体育着登校とする。帽子奨励。(日焼け止め)。濡れても良い靴を持参する
 - (4) 身なりが悪い生徒は、事前に親に伝えて協力をお願いする
 - (5) ビーチクリーン活動の際のゴミ袋は管理事務所から事前に連絡して受け取る

10. スケジュール(当日の流れ)

- (1) 8:15~ 8:30 (15) 出席確認 (集合)
- (2) 8:30~ 9:30 (60) 移動 (学校→造船所)
- (3) 9:45~10:45 (60) 糸満造船所見学(4 クラスを 2 班に分ける)
- (4) 10:45~11:00 (15) 移動 (造船所→美々ビーチ)
- (5) 11:00~11:30 (30) 昼食 (片付けまで含む)
- (6) 11:30~11:50 (20) 開会式 (司会: 生徒)
① 午後の予定について (行乃)
② 糸満サバニ振興会・沖縄水産高等学校職員紹介
- (7) 11:50~12:00 (10) 移動・準備時間
- (8) 12:00~15:00(180) 体験活動(サバニ、ビーチクリーン、ロープワーク、手旗信号)
- (9) 15:10~15:30 (20) 閉会式

干潮	10:46、22:47
満潮	4:24、16:50

11. 事前指導

- (1) 総合的な学習の時間4/26(金)……糸満の先人たちが目指したサバニを伝え、今後どのように後世に伝統を受け継ぎ、発展させていったらよいかを考える
- (2) 新・糸満造船所についてDVD視聴……うちなー企業調査隊（琉球放送）

12. 事後指導

- (1) お礼状・感想記入
- (2) 沖縄水産高等学校教諭 大嶺由紀先生による「海のごみ問題」について講話（ESD）

13. 役割分担

- (1) 集合整列……………（ ）
- (2) ビーチクリーン(事前に袋など公園管理側と確認)（ ）
 - ①袋は美々ビーチから提供有
 - ②ゴミも美々ビーチ引き取り可
 - ア. ペットボトルは燃えるゴミへ
 - イ. ビンと缶は袋を分ける
 - ③ゴミ拾い用手袋
- (3) 学校車(taman 号)……………（ ）
 - ①糸満中学校関係者の車は駐車無料
- (4) トイレットペーパー・ゴミ袋・2斤袋…………（ ）
- (5) 救急箱……………（ ）
- (6) カメラ……………（ ）
- (7) ハンドマイク①……………（ ）
- (8) キーパー③クーラーボックス①……………（ ）
- (9) 職員弁当手配……………（ ）
- (10) 開会式・閉会式……………（ ）
- (11) ワークシート……………（ ）
- (12) ライフジャケット手配……………（ ）
 - ①高嶺小学校(42)
- (13) ウェーク借用……………（ ）

<p>振興会側</p> <ul style="list-style-type: none">(1) サバニ (3 艇)(2) 救助艇(1 艇) <p>沖縄水産高校側</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 救助艇 1 艇(2) 手旗信号用旗(3) ロープ(4) ウェーク(12 本) <p>糸満観光協会</p> <ul style="list-style-type: none">(1) ウェーク(30 本)

14. 安全管理について

- (1) 実施前には事前調査を実施する
- (2) 実習中はライフジャケットを常時正しく着用する
- (3) 講師方から基礎知識を得てから実習を開始する
- (4) 一人では行動しないようにする
- (5) 海上では天候に細心の注意を払う
- (6) 安全に関する注意事項を開会式の中でも行う



15. 帰宅路（遠足時の経路と同じ）

美々ビーチから徒歩で2km



「海洋教育体験活動」タイムスケジュール

I. 活動名&連携機関

活動名	連携機関
(1) サバニ漕ぎ体験	糸満サバニ振興会
(2) ビーチクリーン	美々ビーチいとまん
(3) ロープワーク講習	沖縄水産高等学校
(4) 手旗信号講習	沖縄水産高等学校

II. タイムスケジュール

クラス 時間	3-1	3-2	3-3	3-4
12:00 ～ 12:40	サバニ漕ぎ体験 場所：マリンエリア A:12:00～12:20 B:12:20～12:40 ※終わり次第次の活動 場所へ移動	手旗信号	ロープワーク	ビーチクリーン
移動時間				
12:45 ～ 13:25	ビーチクリーン	サバニ漕ぎ体験 場所：マリンエリア A:12:45～13:05 B:13:05～13:25 ※終わり次第次の活動 場所へ移動	手旗信号	ロープワーク
移動時間				
13:30 ～ 14:10	ロープワーク	ビーチクリーン	サバニ漕ぎ体験 場所：マリンエリア A:13:30～13:50 B:13:50～14:10 ※終わり次第次の活動 場所へ移動	手旗信号
移動時間				
14:15 ～ 14:55	手旗信号	ロープワーク	ビーチクリーン	サバニ漕ぎ体験 場所：マリンエリア A:14:15～14:35 B:14:35～14:55 ※終わり次第次の活動 場所へ移動

「海洋教育体験学習」実施要項

1. ねらい

- (1)海に関わる職業に触れ、自己の生き方や進路に対する関心を高め、進路選択能力等の向上に結びつける。
- (2)救急救命講習を通して、自分の命を守る方法を学び、予期せぬ事故に対応できる技能を身に付ける。

2. 日 時:令和元年 7 月 9 日 (火) 8:15~15:30 (天候判断は前日判断)

3. 講 師:美々ビーチ糸満 マリン事業部 マネージャー 玉城和将さん

4. 体験場所:美々ビーチいとまん 〒901-0306 糸満市西崎町 1 丁目 6 番 15 TEL:098-840-3451

5. 実施内容:

- (1)救急救命講習 (陸) (38 人)
- (2)救急救命講習 (海) (38 人)
- (3)マリンスポーツ(38 人)
- (4)レクレーション(38 人)

6. 対象学年: 3 学年(149 名)

7. 引 率 者:

8. 持 ち 物: 水筒、弁当、着替え(下着、部着上下 2 着程度)、タオル、ビニール袋(着替え用)

9. 対 応:
- (1) 学校集合⇒大型バスにて移動
 - (2) 帰り⇒現地から職員引率の元沖縄水産高等学校まで徒歩 ⇒現地解散
 - (3) トレパン中体育着登校とする。帽子奨励。(日焼け止め)。濡れても良い靴を持参する。
 - (4) 身なりが悪い生徒は、事前に親に伝えて協力を依頼する

10. スケジュール(当日の流れ)

- (1) 8:15~ 8:30 (15) 出席確認 (集合)
- (2) 8:30~ 8:50 (20) 移動 (学校→美々ビーチいとまん)
- (3) 9:00~ 9:30 (30) 開会式・着替え
- (4) 9:30~11:30 (120) 講習
- (5) 11:30~12:30 (60) 昼食 (片付けまで含む)
- (6) 12:30~14:30 (120) 講習
- (7) 14:30~15:00 (30) 着替え
- (8) 15:00~15:15 (15) 閉会式

干潮 10:46、22:47

満潮 4:24、16:50

11. 事前指導

- (1) 総合的な学習の時間1h 6/25(火)・・・バディー決め

12. 事後指導

- (1) 感想記入…当日の待機時間等を活用し記入する。

13. 役割分担

- (1) 集合整列..... ()
- (2) 学校車(taman 号)..... ()
 - ①糸満中学校関係者の車は駐車無料
- (3) トイレ紙・ペーパー・ゴミ袋・2斤袋..... ()
- (4) 救急箱..... ()
- (5) カメラ..... ()
- (6) ハンドマイク①..... ()
- (7) キーパー③クーラーボックス①..... ()
- (8) 職員弁当手配..... ()
- (9) 開会式・閉会式..... ()
- (10) ワークシート..... ()

14. 安全管理について

- (1) 実施前には事前調査を実施する
- (2) 当日の朝、担任は生徒の体調管理を確認する（体調が悪い生徒は、無理せず引率の先生の指示に従う）
- (3) 実習中は指導者の言うことに従う。
- (4) 講師から基礎知識を得てから実習を開始する
- (5) 一人では行動しないようにする
- (6) 海上では天候に細心の注意を払う
- (7) 安全に関する注意事項を開会式の中でも行う



15. 帰宅路（遠足時の経路と同じ）

美々ビーチから徒歩で2km

美々ビーチ



「救急救命講習」 タイムスケジュール

I. 活動名 & 連携機関

活動名	連携機関
(1) 救急救命講習会 (陸)	マリン倶楽部 SUN (美々ビーチいとまん)
(2) 救急救命講習会 (海)	マリン倶楽部 SUN (美々ビーチいとまん)
(3) マリンスポーツ	マリン倶楽部 SUN (美々ビーチいとまん)
(4) レクレーション等 (待機時間)	美々ビーチいとまん

II. タイムスケジュール (美々ビーチ玉城さん作成)

組	班	人数	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30				
4	1	10	開 会 式 ・ 更 衣	海でのキャリア	待機	陸でのキャリア	待機	お 屋 休 憩 、 こ 飯		バナナ	待機	待機		終 了 ・ 更 衣				
	2	10																
	3	10		待機	海でのキャリア	待機	陸でのキャリア			待機	バナナ							
	4	10																
3	5	10		陸でのキャリア	待機	海でのキャリア	待機						バナナ		待機			
	6	10																
	7	10		待機	陸でのキャリア	待機	海でのキャリア						待機		バナナ			
	8	10																
2	9	10		バナナ	待機	待機						海でのキャリア	待機		陸でのキャリア	待機		
	10	10																
	11	10		待機	バナナ										待機	海でのキャリア	待機	陸でのキャリア
	12	10																
1	13	10		待機			バナナ		待機			陸でのキャリア	待機		海でのキャリア	待機		
	14	10																
	15	10							待機	バナナ					待機	陸でのキャリア	待機	海でのキャリア
	16	10																

160

※待機時間は「休憩時間」及び「学級レクの時間」とする

海洋教育パイオニアスクール（事後アンケート）

糸満中学校3年 組 番 氏名 _____

1. 海の自然に親しんだり海に行ったりすることが好きですか。

ア. とても好き イ. 好き ウ. あまり好きではない エ. 好きではない

その理由

2. 海の環境について関心がありますか。

ア. とてもある イ. ある ウ. あまりない エ. 全くない

その理由

3. 海に関わる職業について知っていますか。

ア. よく知っている イ. 知っている ウ. 少し知っている エ. 知らない

その理由

4. 糸満の海について調べてみたいこと、知りたい事はありますか。

ア. たくさんある イ. ある ウ. あまりない エ. 全くない

知りたい事（例：ハーレーの歴史、海人について、サバニについて等）

5. 糸満市と海の関係について思い浮かぶことを挙げてください。（いくつ挙げてても可）